

ガスふる給湯器

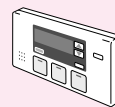
全自動タイプ

131-2100/6100型

自動タイプ

131-2010/6010/6030型

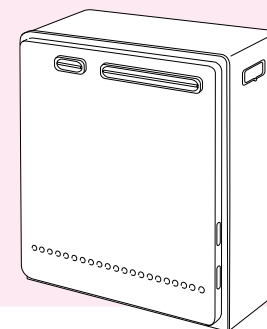
< BL認定品 > 型式名 GRQ-2416AX GRQ-1616AX
GRQ-2416SAX GRQ-1616SAX
GRQ-1616SAX-F



(浴室リモコン)



(台所リモコン)



(131-2100型)

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して) 大阪ガスにご連絡ください。

取扱説明書 大阪ガス



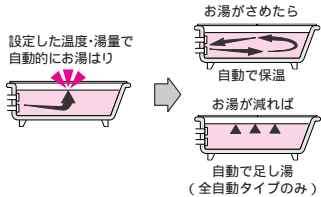









- このたびは大阪ガスのガスふる給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
 - ・P46「アフターサービスについて」の「連絡していただきたい内容」をお読みいただき、お買い上げの製品のタイプ(全自動タイプ・自動タイプ)をご確認の上、取扱説明書をお読みください。
 - ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
 - ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAQ8108



SAQ8108 T

こんなことができます

<p>お湯を出す</p> 	<p>お湯の温度をお好みの温度に設定して 使用できます。</p> <p>(目安の温度:℃)</p> <table border="1" data-bbox="584 200 1248 261"> <tr> <td>37</td><td>38</td><td>39</td><td>40</td><td>41</td><td>42</td><td>43</td><td>44</td><td>45</td><td>46</td><td>47</td><td>48</td><td>60</td> </tr> <tr> <td colspan="2">食器洗いなど</td> <td colspan="5">シャワー、給湯など</td> <td colspan="3">給湯など</td> <td colspan="3">《高温》</td> </tr> </table>	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	食器洗いなど		シャワー、給湯など					給湯など			《高温》		
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60															
食器洗いなど		シャワー、給湯など					給湯など			《高温》																	
<p>お風呂を自動で沸かす 残り湯を沸かし直す</p> 	<p>「ふる自動」</p>  <p>お湯がさがめたら 自動で保温 お湯が減れば 自動で足し湯 (全自動タイプのみ)</p> <p>沸き上がりから4時間、自動保温、自動足し湯します 保温時間は変更できます</p>																										
<p>お風呂の 追いだきをする</p> 	<p>「追いだき」</p>  <p>お風呂のお湯の温度を上げることができます。</p>																										
<p>お風呂のお湯を増やす <足し湯></p> 	<p>「たっぷり」を選択</p>  <p>お風呂のお湯の量を増やすことができます。</p>																										
<p>お風呂のお湯を ぬるくする <さし水></p> 	<p>「ぬるく」を選択</p>  <p>お風呂のお湯の温度を下げることができます。</p>																										
<p>お風呂の沸き上がり時刻を 予約する</p> 	<p>「予約」</p>  <p>沸き上がり時刻を設定・予約</p>  <p>お湯がさがめたら 自動で保温 お湯が減れば 自動で足し湯 (全自動タイプのみ)</p> <p>沸き上がりから4時間、自動保温、自動足し湯します 保温時間は変更できます</p>																										

もくじ

リモコンの特徴	1
必ずお守りください(安全上の注意)	3
各部のなまえとはたらき(本体)	10
各部のなまえとはたらき(リモコン)	11
浴室リモコン	11
台所リモコン	13
初めてお使いになるときは	15
時計を合わせる	16
使いかた	
お湯を出す/お湯の温度を調節する	17
給湯保温機能の上手な使いかた	19
給湯保温する	20
給湯保温の開始時刻を設定する(給湯保温予約)	21
お風呂を自動で沸かす	23
残り湯を沸かし直す	26
ふる温度を調節する	27
ふる湯量を調節する	28
お風呂の追いだきをする	29
お風呂のお湯を増やす(足し湯)	30
お風呂のお湯をぬるくする(さし水)	31
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす	32
ふる配管クリーンについて(全自動タイプのみ)	32
お風呂の沸き上がり時刻を予約する	33
各設定を変更する	35
(お風呂の保温時間、リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電、ふる配管クリーン)	
冬期の凍結による破損予防	37
日常の点検・手入れのしかた	39
故障かな?と思ったら	41
アフターサービスについて	46
主な仕様	47

リモコンの特徴

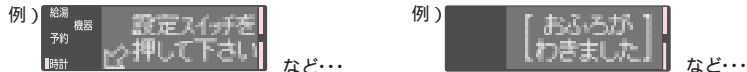
リモコンが音声でお知らせします <音声ガイド>

操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。
 台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合には、片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも声でお知らせします。
 お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。
 (音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることもできます。(P35,36))



リモコン操作を文字でお知らせします <文字ガイド>

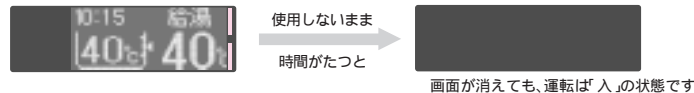
操作の内容を文字でお知らせします。 また、運転の状態を文字でお知らせします。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

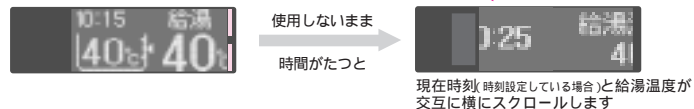
表示節電の場合の画面の変化 ▶▶▶▶▶



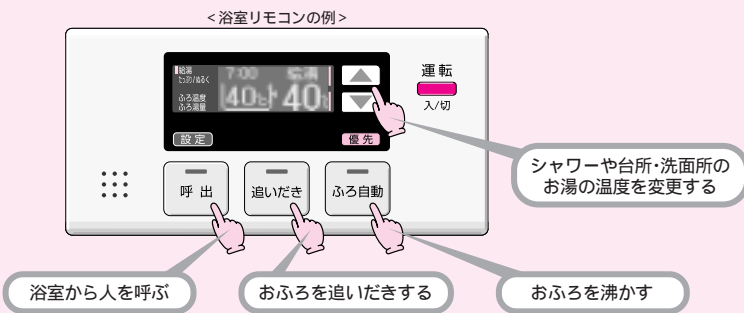
再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、再び表示します。

なお、画面を消さないようにすることもできますが(P35,36) 表示節電の設定をおすすめします。
 表示節電を設定しない場合は、画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わります。再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、元の画面に戻ります。

表示節電しない場合の画面の変化 ▶▶▶▶▶



よく使う操作はワンタッチでOK



細かい設定は「設定スイッチ」で

ふる温度・ふる湯量の設定や、おふろのお湯を増やすとき(足し湯)、おふろのお湯をぬくるとき(さし水)、おふろの沸き上がり時刻を予約するときなどは、まず「設定スイッチ [設定]」でおこないたい操作を選び、それぞれを設定してください。(詳しくは本文の操作説明をお読みください)



必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
	お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
			分解禁止

危険

ガス漏れ時の処置



火気禁止



ガス漏れに気づいたときは、次の1～3の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない。

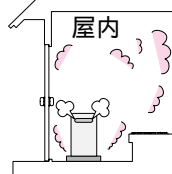
電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。

周辺の電話も使用しない。

火や火花で引火し、火災のおそれがあります。

1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉める。
2. 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
3. 販売店または、最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡する。

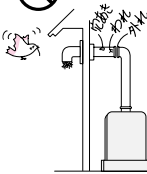
屋内設置の禁止(屋外設置形のみ)



この本体は屋外設置形です。屋内(浴室含む)への設置は、絶対にしていただき、一酸化炭素中毒の原因になります。

排気筒の外れ、穴あき、つまり

(屋内設置形のみ)



排気筒が外れていたり、穴があいていないか確認してください。排気筒トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどがつまったりしていないか確認してください。排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

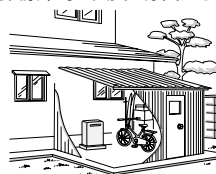
警告

波板囲いなどの禁止

【屋外設置形の場合】

増改築などによって、本体を屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。

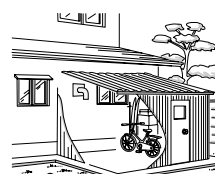
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



【屋内設置形の場合】

増改築などによって、排気筒トップを屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



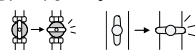
異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。



2. 運転スイッチを「切」にする。

3. ガス栓・給水元栓を閉める。



異常時 排気口から煙が出る、こげ臭いなど または、地震・火災などの緊急の場合は左記の処置をし、すぐに販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

火災・感電・故障などの予防のため。

警告

やけどに注意



高温注意



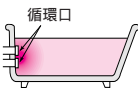
シャワーなどお湯を使用するときは、リモコンの給湯温度表示を確かめ、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。

やけど予防のため。入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。



やけど予防のため。

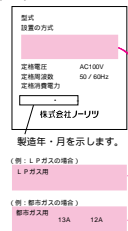
おふる沸かし・沸かし直し・追だきのときは、循環口付近はあつくなる場合がありますのでさわらないでください。



使用ガス、電源の確認



(銘板) 〇〇部分を確認してください。



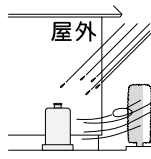
銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。

表示以外のガスで使用する、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。

電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。

他の電源で使用すると、火災・感電の原因になります。わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大販াগにご連絡ください。

屋外設置の禁止(屋内設置形のみ)



この本体は屋内設置形です。屋外への設置は絶対にしていただきません。

雨水が侵入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

本体・リモコンの分解禁止



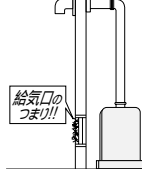
分解禁止

本体・リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

子供に注意

浴そうの循環口近くで水に潜らないでください。思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

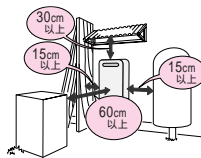
給気口のつまり(屋内設置形のみ)



給気口にゴミなどがつまっている場合は取り除いてください。不完全燃焼の原因になります。

周囲の防火措置について

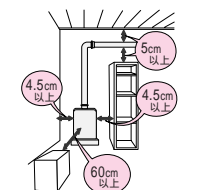
【屋外設置形の場合】



本体のまわりに燃えやすい物(樹木・木材・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。

火災予防のため。

【屋内設置形の場合】



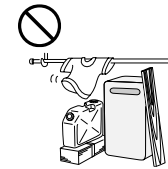
アフターサービス上の寸法です。

本体や排気筒のまわりに燃えやすい物(木材・棚・カーテンなどの布・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。

火災予防のため。

火災の予防

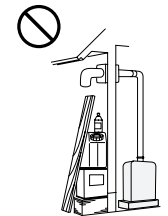
【屋外設置形の場合】



本体や排気筒のまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。

火災の原因になります。

【屋内設置形の場合】



本体や排気筒トップのまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。

火災の原因になります。

注意

やけどに注意



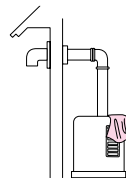
接触禁止



排気口や排気筒のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。やけど予防のため。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

給気フィルターのつまり

(屋内設置形のみ)



給気フィルターはものなどでふさがれないでください。給気フィルターがゴミやほこりなどでふさがれていないか確認してください。不完全燃焼の原因になります。

⚠️ 注意

電源プラグは確実に



電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

太陽熱温水器との接続禁止

ソーラー対応ミキシングユニット(スカイブレンダー) <046-0155型>を使用する場合は除く

太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。

お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。
また本体の故障の原因にもなります。

用途について

台所・お風呂などの給湯、シャワー、お風呂を沸かす以外の用途には使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。
本体や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。
もしお客様で旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

ア - スの確認



ア - スする!

この本体には、ア - スが必要ですので確認してください。
本体が故障した場合、感電の原因になります。

感電に注意

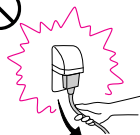


感電注意



電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。
コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

本体のまわりはきれいに

本体のまわりはいつもきれいにしておいてください。

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、本体の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

お願い

停電時の処置

停電したときは、運転が停止します。
停電後、設定した現在時刻がリセットする場合がありますので確認してから使用してください。
(電源プラグを抜いたときも同じです。)

お風呂沸かし時の注意



浴そうの循環口を、タオルなどでふさがないようにください。
循環不良になり、お風呂沸かしができません。

入浴剤や洗剤の注意

硫黄(イオウ)・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。
入浴剤や洗剤は注意文を充分にお読みになってからお使いください。

本体の熱交換器が腐食する原因になります。



入浴剤を使用して追いだきした時に、沸き上がり音や振動する音が出る場合は、それ以降その入浴剤の使用をやめてください。

日常のお手入れ

浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

リモコンについて



リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水型ですが、故意に水をかけないでください。
故障の原因になります。
(台所リモコン・増設リモコンは防水型ではありません。)
台所リモコン・増設リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。
故障の原因になります。

積雪時の注意

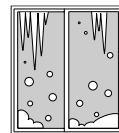
積雪時には給・排気口の点検、除雪をおこなってください。

給・排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、給・排気口がふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。
(P38)

凍結に注意



冬期は、凍結による本体の破損予防のため必要な処置をしてください。
(P37,38)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

お願い

結露現象に注意

水を出すときには、給湯器の運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すことはしないでください。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

お湯を出すときには、給湯器の運転スイッチが「入」であることを確認してお湯を出してください。

運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すと、熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因となったり、電気部品の損傷につながります。

特監法対象製品です(屋内設置形のみ)

この製品の設置工事及び変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいておこない、工事完了後本体と排気筒に法定のステッカーを貼り付けることになっていますので確認してください。

市販の補助用具使用について

この本体の純正部品以外は使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。
水圧の低い地域では、泡沫水栓を使用しないでください。
給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
(わからないときは、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。)

ヘアースプレーなどの禁止

(屋内設置形のみ)

本体の近くでヘアースプレーやスプレー洗剤などの使用はしないでください。
故障の原因になります。

ガス事故防止

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

排気ガスについて

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。
増改築時も同様に注意してください。

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

温泉水や自家用井戸水で使うと

水質によっては、本体内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

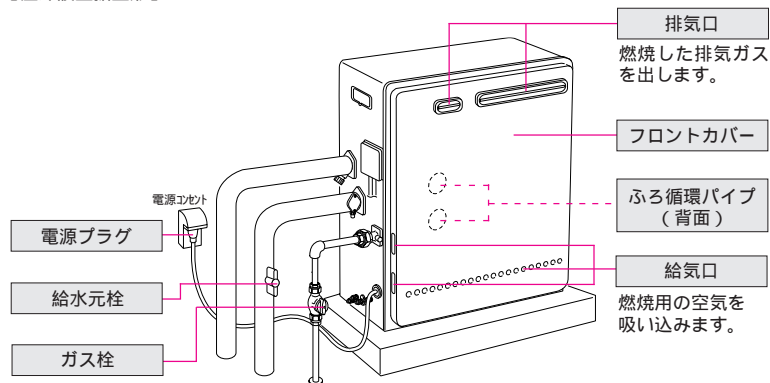
この製品は一般家庭用です

業務用のような使い方をされると、製品の寿命を短くします。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

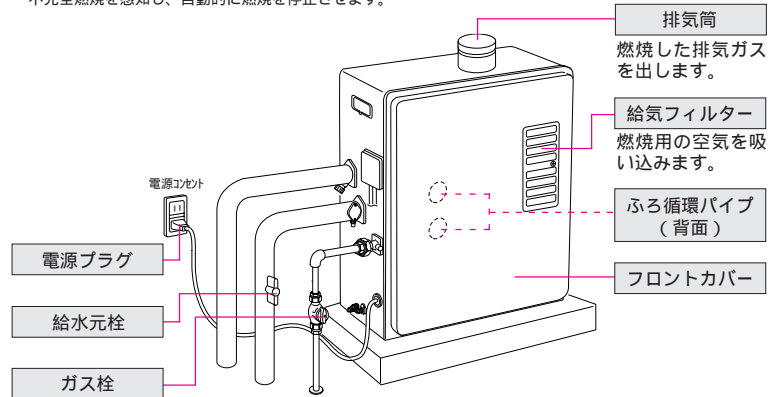
各部のなまえとはたらき(本体)

本 体

131-2100型, 131-2010型, 131-6100型, 131-6010型
【屋外設置据置形】



131-6030型
【屋内設置形 浴室隣接設置形】
COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)内蔵です。
不完全燃焼を感知し、自動的に燃焼を停止させます。



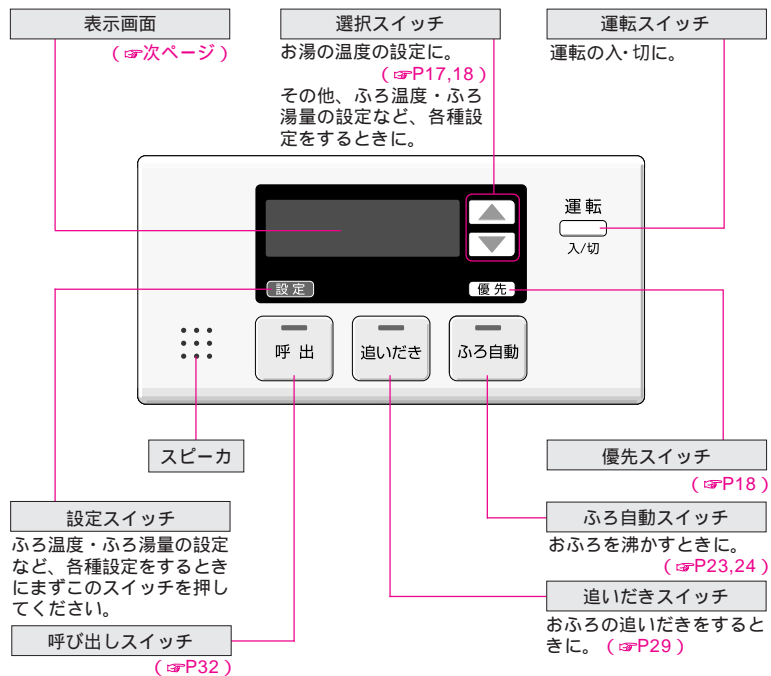
上のイラストは施工例です。

配管の形状・給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

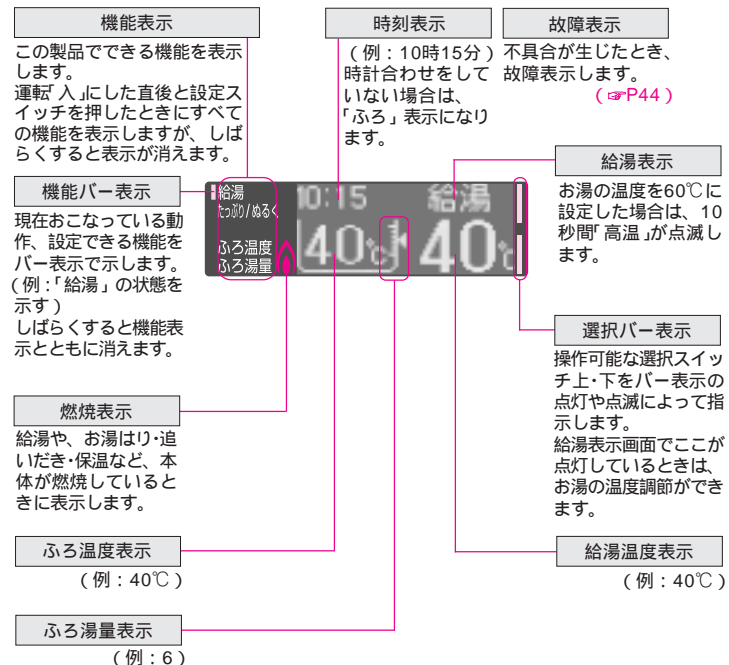
浴室リモコン

(浴室に取り付けます)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。(使いかたの各ページ参照)

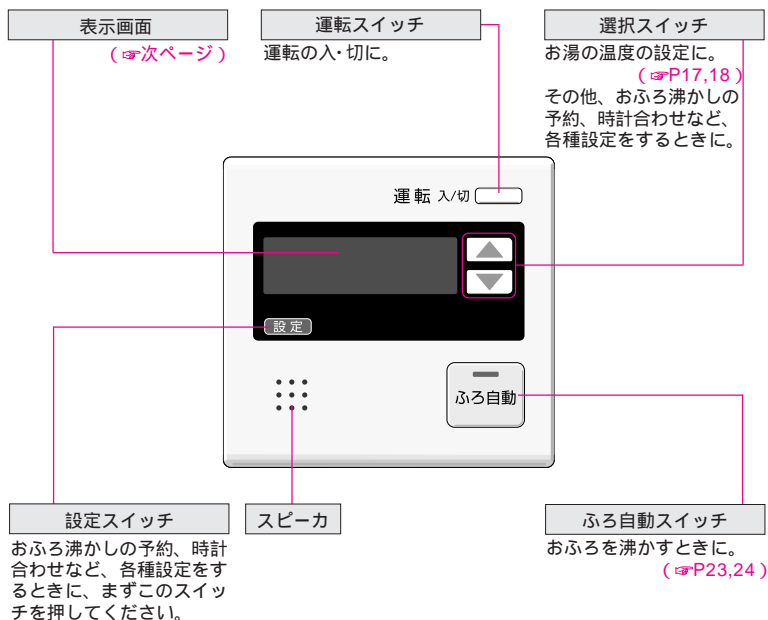


増設リモコンなどの別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

台所リモコン

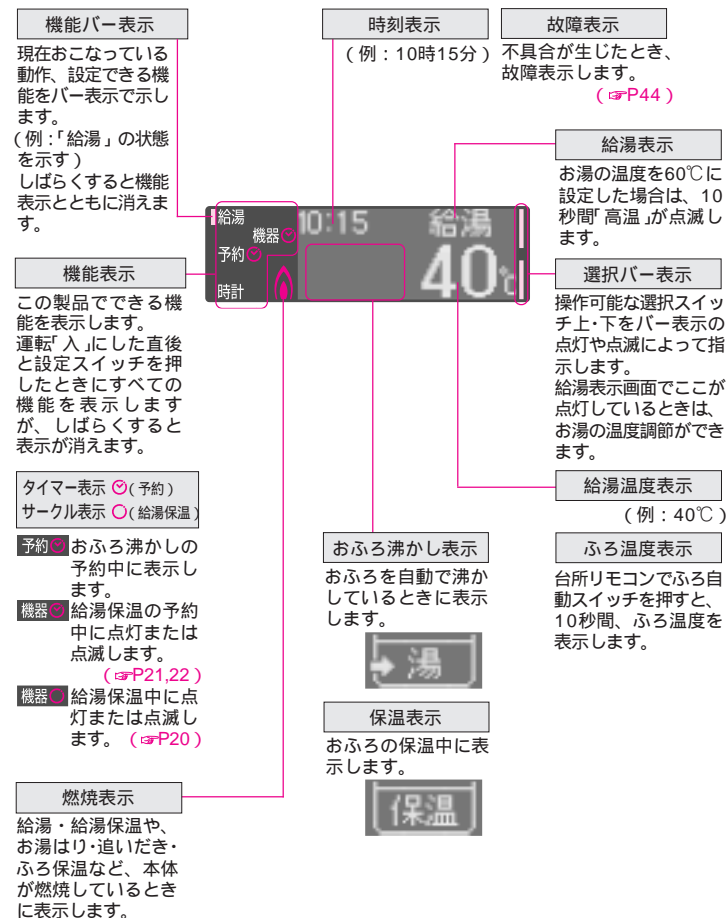
(台所などに取り付けます) 131-6030型のみ別売品(138-0030型)



増設リモコンなどの別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。(使いかたの各ページ参照)

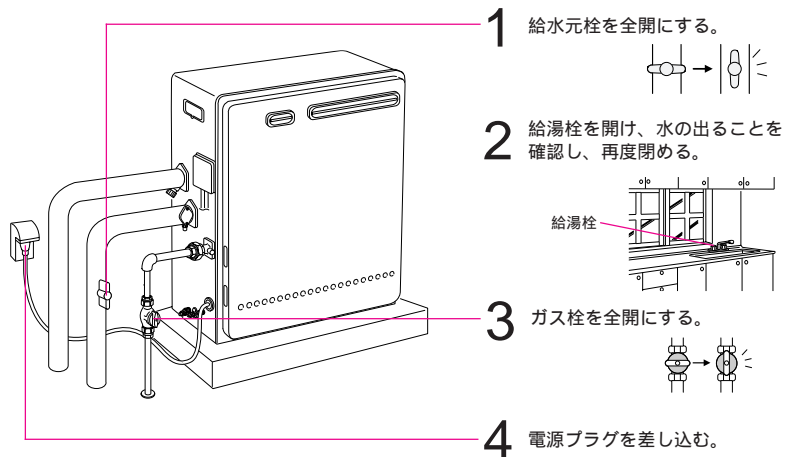


初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1~5 の手順でおこなってください。

(屋外設置形で説明していますが、屋内設置形も同じ手順です。)



5 浴そうの循環口からお湯の水が出てくることを確認する。(ポンプの呼び水)
浴室リモコンで操作してください

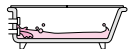
① 運転スイッチを押す



② ふる自動スイッチを押す



③ 浴そうの循環口から水が出てくることを確認する



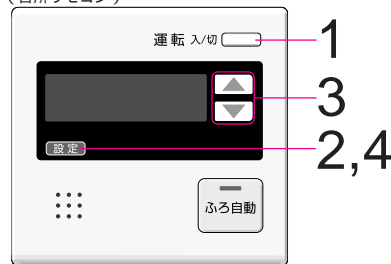
リモコンの表示が消えて故障表示 ■■■■ が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度①よりやり直してください。

④ ふる自動スイッチを押す



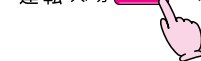
時計を合わせる

(台所リモコン)



1 台所リモコンの運転スイッチを「入」にする

運転 入/切 点灯



♪ 運転「入」音が鳴ります。



2 設定スイッチを押してバー表示を「時計」の位置にする



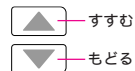
設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

🔊 時刻が変更できます”



バー表示 = 「時計」

3 選択スイッチで 現在時刻を設定する



一度すすすごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

🔊 よければ設定スイッチを押してください”



設定時刻



4 設定スイッチで確定 (元の画面表示に戻る)



🔊 設定されました”

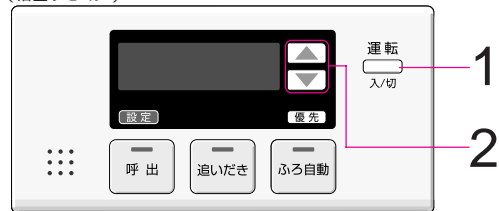


時計合わせをしていない場合、浴室リモコンでは時刻表示のかわりに「ふる」を表示します。

使いかた

お湯を出す/お湯の温度を調節する

(浴室リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

< 運転スイッチ「切」のとき >

1 運転スイッチを「入」にする



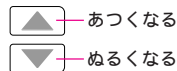
♪ 運転「入」音が鳴ります。



前回に設定した給湯温度 (例: 40℃)

< 一度設定すると記憶します >

2 選択スイッチで給湯温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



給湯温度が変更されました



変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



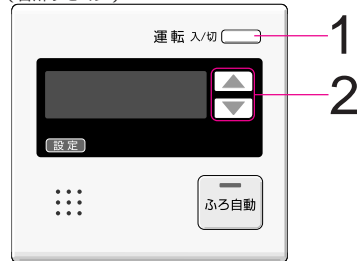
燃焼中 点灯

4 給湯栓を閉める



消灯

(台所リモコン)



警告



高温注意

やけど予防のために。

シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

60℃に設定したときは、
・ あついお湯が出ます”
・ 約10秒間、高温表示が点滅でお知らせします。

表示の温度をよく確かめてから使用してください。60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。

表示節電がはたらいて画面表示が消えている場合 (P2) 給湯栓を開けると再び画面表示しますので、給湯温度をよく確かめてから使用してください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は「優先」を切り替えしないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。



約10秒間 点滅 点灯



< 浴室リモコン表示画面 >



(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など								給湯など			高温

初期設定(工場出荷時) = 40℃

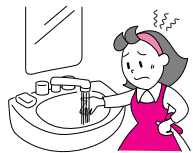
お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください - < 優先切替 >

	湯温調節できない状態	湯温調節するには (優先切替)	湯温調節できる状態	
浴室リモコン	<p>点灯していない</p> <p>優先スイッチを押すと</p>	<p>優先スイッチを「入」にする</p> <p>点灯</p> <p>給湯温度が変更できます”</p> <p>優先スイッチを押してください”</p>	<p>点灯</p>	<p>各リモコンで設定温度がそれぞれ違っていたときは、優先切り替え時に</p>
台所リモコン	<p>点灯していない</p> <p>押すと</p>	<p>運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする</p> <p>消灯</p> <p>点灯</p> <p>ふる運転中にこの操作をするとふる運転が停止します。</p>	<p>点灯</p>	<p>給湯温度が変更されました”</p> <p>あついお湯が出ます(60 時)</p> <p>等お知らせします。</p> <p>設定温度は例です。</p>

給湯保温機能の上手な使いかた

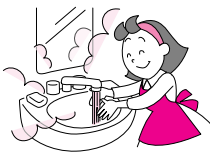
こんなお悩みを解決します

なかなか温まらずイライラ……



給湯保温機能を使えば、より早く適温が出ます。

冬の朝一番でも、より早く適温！

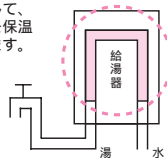


Q. 「給湯保温機能」とは何？

A. 設定温度のお湯が早く出るように、本体内のお湯を保温しておく機能です。

お湯を使用していないときでも、給湯器内が冷えるため保温のため燃焼します。異常ではありません。

時々燃焼して、この部分を保温しておきます。



Q. 給湯保温機能を使っても、損をしないの？

A. 早くお湯が出てくるので、お湯が出るまでに使うガス量も捨てる水の量も少なくてすみず。また、損にはなりません。

Q. 上手な使い方はありますか？

A. ①朝一番の時間帯に給湯保温予約運転の設定をしておくとう便利です。

寝る前に運転スイッチを切っても、朝には自動的に給湯保温運転を開始します。

②給湯保温予約中で、お湯を使用しないとき(寝る前や外出される時など)は、こまめに運転スイッチを切ってください。こまめに切った方が無駄が少なくなります。

Q. 給湯保温機能を使っても、最初に水が出るけれど？

A. 給湯配管中の水は保温できないので、その水が出るためです。

Q. 給湯保温時間帯であるはずなのに、給湯保温が切れている？

A. 給湯栓が充分開まっていますか？

閉まっていない場合は、しっかりと閉めてください。

閉まっている場合は、給湯回路から水漏れが生じている可能性があるため、お買い上げの販売店にご連絡ください。

使いかた 給湯保温する

(131-6030型を除く)

(台所リモコン)



2

1,3

お湯を出していないときでも燃焼して本体内部のお湯を暖め、保温し、給湯栓を開いてからお湯が出るまでの時間を短くします。(運転「切」にして本体内部が冷えている場合は、本体内部のお湯が十分に暖まるまで、数分間時間がかかります。季節によって変わります。)

運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にする



設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

給湯保温または、給湯保温の予約ができます



給湯温度の確認・調節をしてください。優先リモコンの給湯設定温度のお湯が出ます。(P18)

2 選択スイッチ(上)で給湯保温「入」にする



給湯保温を開始します



「機器」表示が点滅しているときは、給湯保温の準備中です。

3 設定スイッチで確定(給湯表示画面に戻る)



設定されました

約1時間保温を続けます。(保温中にお湯を使用すると、そこから約1時間延長します)



給湯保温中は「機器」表示

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

約1時間お湯を使用しないと給湯保温が停止し、「機器」表示が点滅します。(サークル表示も点滅のまま)

<保温停止中>
機器 両方点滅

再度お湯を使用すると、「機器」表示が点灯に変わり、お湯の使用後からさらに約1時間保温を続けます。

<保温中>
機器 サークル表示のみ点滅

給湯保温をやめたいとき

1-3の手順で、給湯保温の「切」を点滅させて確定してください。



運転スイッチを「切」にしても給湯保温は解除します。

お湯を出すときの注意事項、温度調節範囲などは、P17~18「お湯を出す/お湯の温度を調節する」をごらんください。

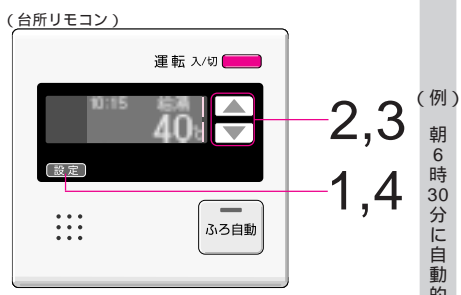
女性の声でお知らせ

使いかた

給湯保温の開始時刻を設定する(給湯保温予約)

(131-6030型を除く)

給湯保温の開始時刻をあらかじめ設定しておくことができます。



2,3
1,4

(例) 朝6時30分に自動的に給湯保温をはじめたい場合

給湯保温の開始時刻になると、運転「切」の場合でも、自動的に運転「入」にし、給湯保温を始めます。

<その場合のリモコン表示>

サークルのみ 点滅



給湯保温の開始時刻は、一度設定すると記憶しています。
運転「切」にすると、給湯保温も「切」になりますが、給湯保温予約を「解除」しなければ、次回も設定した時刻に給湯保温を開始します。

給湯保温予約の設定前の準備

1. 給湯温度を確認する。
2. 現在時刻が正しいかどうか確認する。
(「時計を合わせる」⇨P16)

4 設定スイッチで確定する (給湯表示画面に戻る)



予約されました

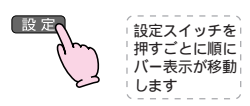


最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、3の段階で変更したままで確定されます。

ただし現在時刻を設定していない場合は、開始時刻設定のあと続けて現在時刻の設定に入ります。
「時計を合わせる」(⇨P16)の3~4の要領で現在時刻を設定してください。

運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にする

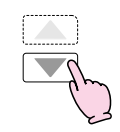


給湯保温または、給湯保温の予約ができます

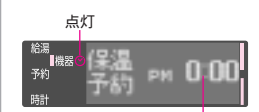
バー表示 = 「機器」 点滅



2 選択スイッチ(下)で給湯保温予約「入」にする

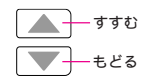


時刻が変更できます

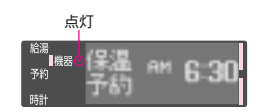


<一度設定すると記憶します>

3 選択スイッチで開始時刻を設定する (時刻変更しない場合4へ)



一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。



よければ設定スイッチを押してください

予約時刻5分前になると給湯保温開始

約1時間保温を続けます。
(保温中にお湯を使用すると、そこから約1時間延長します)

サークルのみ 点滅



給湯保温中は「機器」を表示

約1時間お湯を使用しないと給湯保温が停止し、「機器」表示が点滅します。
(タイマー表示も点滅のまま)

<保温停止中>



再度お湯を使用すると、「機器」表示が点灯に変わり、お湯の使用後からさらに約1時間保温を続けます。

<保温中>



給湯保温予約をやめたいとき (給湯保温予約時間の確認をしたいとき ①~②)

① 設定スイッチを押して、バー表示を「機器」の位置にする。

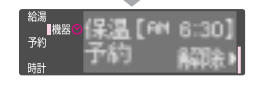
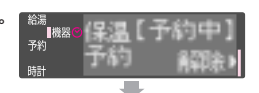
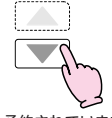


バー表示 = 「機器」 点滅



給湯保温または、給湯保温の予約ができます

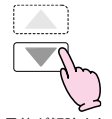
② 選択スイッチ(下)を押す。



予約されています

予約時間の確認のみの場合は、このあと設定スイッチを押してください。(給湯表示画面に戻る)

③ さらに選択スイッチ(下)を押して解除する。



予約が解除されました

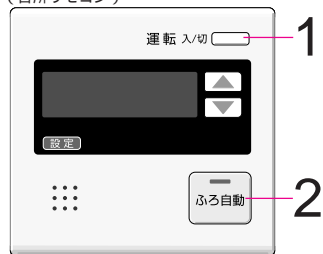
使いかた

おふろを自動で沸かす-1

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

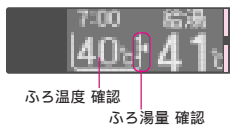
1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの下部循環口に、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。
(お湯はり時に、お湯が飛び散ることがあります)



1 運転スイッチを「入」にする



♪運転「入」音が鳴ります。

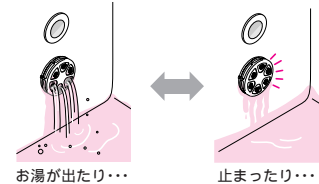


ふる温度・湯量の変更のしかた

27～28ページ参照

故障ではありません

お湯はりの準備のため、ふる自動スイッチを押すと、しばらくは浴そうの循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。



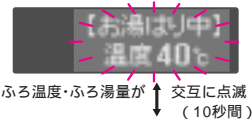
(次ページへ)

2 ふる自動スイッチを「入」にする



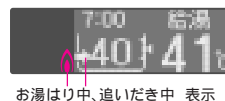
🗣️ お湯はりをします*

1) お湯はりを開始します。



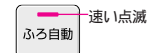
ふる温度・ふる湯量が 交互に点滅 (10秒間)

2) お湯はりがおわると、追いだきます。



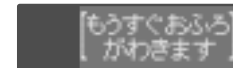
お湯はり中、追いだき中 表示

3) 入浴できる状態に近づくと、ランプが速い点滅に変わります。



♪ビビビ音でお知らせ

🗣️ もうすぐおふろが沸きます*



台所リモコンでふる自動スイッチを押した場合、台所リモコンの給湯温度表示が10秒間ふる温度表示に変わります。



警告



高温注意

やけど予防のために。

お湯はりに、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふる設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

おふろを自動で沸かす-2

ごきげんオート <全自動タイプのみ>

入浴したのをセンサーが検知します。



おふろに入ると、体温でお湯の温度が少し下がります。そこで「ぬるいな」と感じる前に自動的にあたためます。(沸き上がり以降)

約30秒後に追いだきを開始して、ふろ設定温度まで追いだきます。

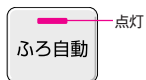


保温時間中、ごきげんオートはたります。

沸き上がり後の自動追いだし保温・自動足し湯および、追いだし・足し湯運転終了後約2分間および、「ぬるく」運転終了後約15分間は動きません。

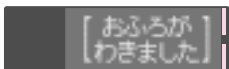
(前ページより)

沸き上がり



メロディでお知らせ
"おふろが沸きました"

約4時間、自動追いだし保温・自動足し湯(全自動タイプのみ)を続けます。
保温時間は変更できます。(P35,36)



保温燃焼中 点灯

- 途中でおふろ沸かしをやめたいとき
- 沸き上がり後、自動追いだし保温・自動足し湯(全自動タイプのみ)・ごきげんオート(全自動タイプのみ)の必要がないとき

ふろ自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)

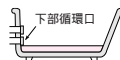




(全自動タイプのみ)
沸き上がったあとで、ふろ自動スイッチを切り、排水栓を抜くと、自動的にふろ配管内の残り湯を排出します。
(P32「ふろ配管クリーンについて」)

残り湯を沸かし直す

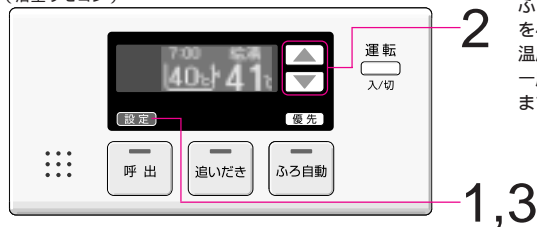
残り湯の沸かし直しは、おふろの自動沸かし(P23~25)と同じ操作でおこなってください。製品タイプと残り湯の量によって、沸き上がりの状態が違うのでご注意ください。

残り湯を沸かし直すときの注意

全自動タイプ	設定したふろ湯量(水位)まで足し湯してから、設定温度に沸き上げます。
	<p><残り湯が 下部循環口より下にある場合></p>  <p>残り湯の分だけ沸き上がり量が増えます。</p>
自動タイプ	<p><残り湯が 下部循環口より上で、設定温度より約5℃以上低い場合></p>  <p>設定湯量の不足分を足し湯し、設定温度まで沸き上げます。 沸き上がり量は多少ばらつきます。</p>
	<p><残り湯が 下部循環口より上で、設定温度より約5℃以内の場合></p>  <p>約10%足し湯し、設定温度まで沸き上げます。 沸き上がり量は残り湯の量により、設定湯量にならない場合があります。</p>

ふろ温度を調節する

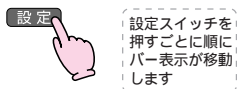
(浴室リモコン)



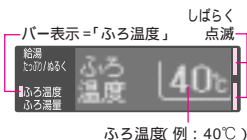
ふろ温度は、初期設定(工場出荷時)を40℃にしてありますが、お好みの温度に変更することができます。一度設定した温度は、次回変更するまで記憶しています。

運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

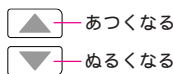
1 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ温度」の位置にする



⊙ ふろ温度が変更できます*



2 選択スイッチでふろ温度を調節する



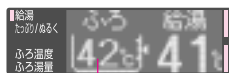
ふろ温度を変更すると、
⊙ よければ設定スイッチを押してください*



3 設定スイッチで確定 (給湯表示画面に戻る)



⊙ 設定されました*



(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

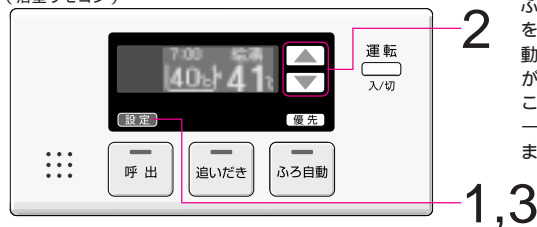
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ	ふつう			あつめ							

初期設定(工場出荷時)=40℃

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

ふろ湯量を調節する

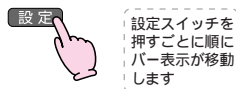
(浴室リモコン)



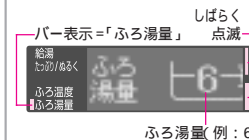
ふろ湯量は、初期設定(工場出荷時)を「6」(全自動タイプ=43cm、自動タイプ=200ℓ)にしてありますが、お好みの湯量(水位)に変更することができます。一度設定した湯量は、次回変更するまで記憶しています。

運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

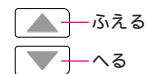
1 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ湯量」の位置にする



⊙ ふろ湯量が変更できます*



2 選択スイッチでふろ湯量を調節する



ふろ湯量を変更すると、
⊙ よければ設定スイッチを押してください*



3 設定スイッチで確定 (給湯表示画面に戻る)

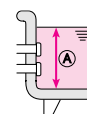


⊙ 設定されました*



全自動タイプの場合

<水位の目安>
浴槽の形状などにより、実際の水位と異なります。



ふろ湯量表示	(A)の寸法
11	60cm
10	57cm
9	53cm
8	50cm
7	46cm
6	43cm
5	39cm
4	36cm
3	32cm
2	29cm
1	25cm

初期設定(工場出荷時)=6

自動タイプの場合

ふろ湯量表示	設定湯量(目安)	浴そうの大きさ(目安)
11	330ℓ	
10	300ℓ	1600ℓ以上
9	270ℓ	
8	245ℓ	1400ℓ以上
7	220ℓ	
6	200ℓ	1200ℓ以上
5	180ℓ	1100ℓ以上
4	165ℓ	900ℓ以上
3	150ℓ	800ℓ以上
2	140ℓ	洋バス
1	130ℓ	

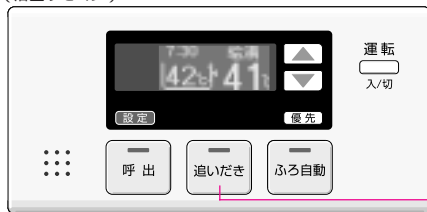
初期設定(工場出荷時)=6

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

使いかた

お風呂の追いだきをする

(浴室リモコン)



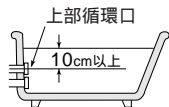
お風呂の追いだきができます。



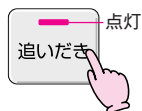
運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

浴そうの上部循環口センターより10cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。

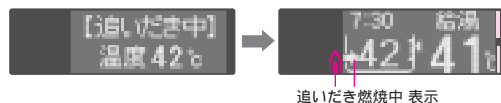


1 追いだきスイッチを「入」にする



☉ 追いだきをします”

お湯の温度がふる設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がふる設定温度以上の場合はお湯の温度+約1℃まで、追いだきします。(最高50℃まで)



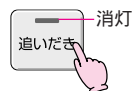
追いだき燃焼中表示

追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

追いだき中に温度を変更したい場合は、「ふる温度を調節する」(P27)の手順で変更してください。

追いだきを途中でやめたいとき

もう一度、追いだきスイッチを押す。(ランプ消灯)



「お風呂の追いだき」は、お風呂の自動沸かし中は使用できません。

使いかた

お風呂のお湯を増やす(足し湯)

☉: 女性の声でお知らせ

(浴室リモコン)

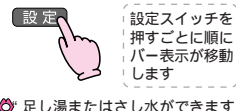


お風呂のお湯の量が、約20%増えます。



運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「たっぷり/ぬるく」の位置にする

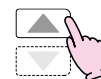


☉ 足し湯またはさし水ができます”



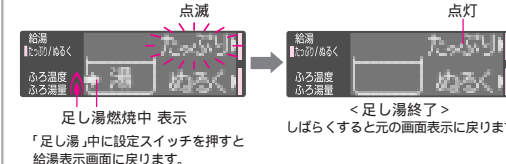
しばらく点滅

2 選択スイッチ(上)で「たっぷり」を選ぶ



☉ 足し湯をします”

お湯を約20%足し湯し、自動的に止まります。(お湯の温度はふる設定温度です。)



しばらくすると元の画面表示に戻ります

足し湯「たっぷり」を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(上)を押す。(1の画面に戻る)



設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

「足し湯」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふる設定温度のお湯が出ます。「足し湯」は、お風呂の自動沸かし中は使用できません。

使いかた

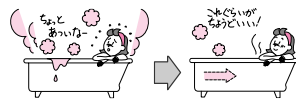
お風呂のお湯をぬるくする(さし水)

(浴室リモコン)



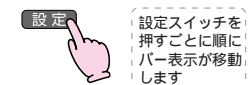
2
1

お風呂のお湯の温度を下げるができます。



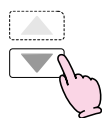
運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「たっぶり/ぬるく」の位置にする



足し湯またはさし水ができます*

2 選択スイッチ(下)で「ぬるく」を選ぶ



さし水をします*

<全自動タイプの場合>
 ふろ設定温度より約1 下げるために必要な水はいり、約3%のお湯がはいってから停止します。(最大20%まで)
 <自動タイプの場合>
 10%の水がはいり、約3%のお湯がはいってから停止します。



しばらく点滅



さし水「ぬるく」運転中 表示
 燃焼表示がつくことがあります。しばらくすると元の画面表示に戻ります
 「さし水」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

さし水(ぬるく)を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(下)を押す。(給湯表示画面に戻る)



約3%のお湯を入れてから停止します。

設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

「さし水」は、お湯の使用前または「お風呂の自動沸かし」のお湯はり中は使用できません。
 「さし水」中に台所などの給湯栓を開けると、「さし水」は中止されます。
 その場合、しばらくは「さし水」の表示画面のままになっているため、給湯温度の確認ができません。
 給湯温度を高温に設定しているときは特に注意してください。

使いかた

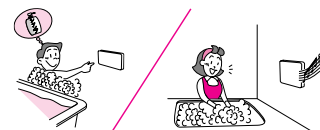
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす

女性の声でお知らせ

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。
 (インターホンではないので会話はできません)



呼び出しスイッチを押す



呼び出し音でお知らせ
 +
 お風呂で呼んでいます*



押し続けると、手を離すまで呼び出し音をくりかえします。

ふろ配管クリーンについて (全自動タイプのみ)

お風呂のお湯(水)を排水するときに、運転スイッチを「入」にしてから排水すると、循環アダプターからお湯が約7%出て、ふろ配管内の残り湯を排出します。

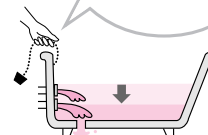
次の場合は配管クリーンにはたつきません。

運転スイッチ「切」の場合
 ふろ自動スイッチ「入」の場合
 (お風呂の自動沸かしの途中や保温中の場合)
 浴そうの水位が上部循環口より下にある場合

ふろ配管クリーン「切」の場合

ふろ配管クリーン「切」にするためには・・・(P35,36)

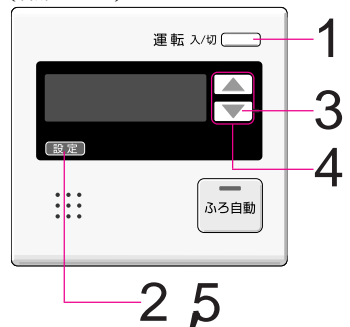
排水する前に運転スイッチ「入」にして!



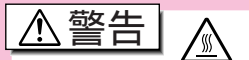
使いかた

おふろの沸き上がり時刻を予約する

(台所リモコン)



沸き上がり時刻の60分前までには予約してください。
(約30～60分前におふろ沸かしを開始するため)
予約する時刻は、沸き上がり時刻です。(運転を開始する時刻ではありません)



警告
やけど予防のために。
高温注意
お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

運転スイッチ「切」にしても予約運転します。
前日などの残り湯(水)があるとき、または、予約したおふろ沸かし中に給湯を使用すると、沸き上がり時刻が遅れる場合があります。

1 運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの下部循環口に、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。(お湯はり時に、お湯が飛び散ることがあります)
4. 沸き上がり時のふる温度とふる湯量を確認する。(設定スイッチで確認) **☞P27,28**
5. 現在時刻が正しいかどうか確認する。(「時計を合わせる」) **☞P16**

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押してバー表示を「予約」の位置にする

設定スイッチを押すことで、設定スイッチの順にバー表示が移動します。

☞ ふる自動の予約ができます

バー表示 = 「予約」

しばらく点滅

3 選択スイッチ(下)を押す

時刻が変更できます

設定時刻 しばらく点滅

以前に4で予約時刻を設定しているとき、その時刻を表示します。

<一度設定すると記憶します>

4 選択スイッチで沸き上がり時刻を設定する(時刻変更しない場合5へ)

↑ すずむ
↓ もどる

一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。

☞ よければ設定スイッチを押してください

5 設定スイッチで確定する(給湯表示画面に戻る)

☞ 予約されました

最後に設定スイッチを押したときでも、4の段階で変更したままで確定されます。

現在時刻を設定していない場合は、沸き上がり時刻設定のあと続けて現在時刻の設定に入ります。「時計を合わせる」(☞P16)の3～4の要領で現在時刻を設定してください。

おふろ沸かしが始まる前に

- ・予約時刻を確認したい
- ・予約をやめたいとき
- ・予約時刻を変更したい

とき(下記①のみ)
(下記①～②)
とき(下記①～③)

①設定スイッチを押し、☞ 予約されています

バー表示

②選択スイッチ(下)で解除する。
☞ 予約が解除されました

③上記1～4の手順で、設定しなおす。

おふろ沸かし開始

予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30～60分前に自動運転を開始します。

☞ ふる自動

お湯はり中、追いだし中

おふろ沸かしが始まったあとでおふろ沸かしをやめたいとき

ふる自動スイッチを押す。(ランプ消灯)

☞ 消灯

☞ ふる自動

沸き上がり

☞ 点灯

☞ ふる自動

メロディでお知らせ
☞ おふろが沸きました

約4時間、自動追いだし保温・自動足し湯(全自動タイプのみ)を続けます。
保温時間は変更できます。
☞P35,36

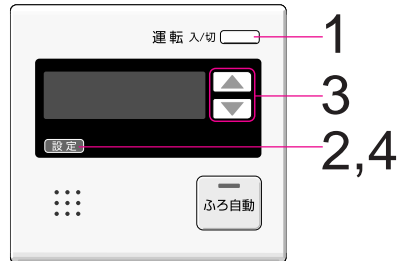
☞ 保温燃焼中 点灯

各設定を変更する(おふろの保温時間、リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電、ふる配管クリーン)

(浴室リモコン)



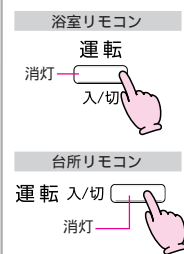
(台所リモコン)



次のような設定の変更ができます	
おふろの保温時間	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも変更できます
リモコンの音量	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの音声ガイド	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの表示の節電	それぞれのリモコンで設定してください
ふる配管クリーン (全自動タイプのみ)	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも変更できます

1 運転「切」にする

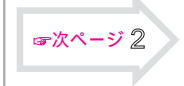
運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。



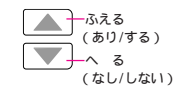
2 設定スイッチを押す



押すごとにそれぞれの設定に切り替わります。



3 選択スイッチで変更する



それぞれの変更をします。



4 設定が完了すれば設定スイッチを押す



続けて他の設定を変更する場合は、再度2~4の手順で変更してください。

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

👩 = 初期設定(工場出荷時)

	2 設定スイッチを押す (押すごとに切り替わります)	3 選択スイッチで変更する										
ふる保温時間	<p>👩 保温時間が変更できます"</p>	<p>(単位:時間)</p> <table border="1"> <tr> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td> </tr> </table> <p>👩 保温なし</p>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
音量	<p>👩 音量が変更できます"</p>	<table border="1"> <tr> <td>なし</td><td>小</td><td>中</td><td>大</td> </tr> </table> <p>「なし」の設定でも「呼び出し音」(⇒P32)は鳴ります。</p>	なし	小	中	大						
なし	小	中	大									
音声ガイド	<p>👩 操作音が変わります"</p>	<table border="1"> <tr> <td>あり</td><td>操作音と声でお知らせします</td> </tr> <tr> <td>なし</td><td>操作音のみでお知らせします</td> </tr> </table> <p>操作音と声の両方とも鳴らさないようにするには、音量を「なし」に設定してください。 (音量「なし」の設定でも「呼び出し音」(⇒P32)は鳴ります。)</p>	あり	操作音と声でお知らせします	なし	操作音のみでお知らせします						
あり	操作音と声でお知らせします											
なし	操作音のみでお知らせします											
表示の節電	<p>👩 表示が変更できます"</p>	<table border="1"> <tr> <td>する (こちらを推奨します)</td><td>無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯)再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。(⇒P2)</td> </tr> <tr> <td>しない</td><td>運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。(画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わりますが、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。)(⇒P2)</td> </tr> </table>	する (こちらを推奨します)	無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯)再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。(⇒P2)	しない	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。(画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わりますが、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。)(⇒P2)						
する (こちらを推奨します)	無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯)再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。(⇒P2)											
しない	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。(画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わりますが、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。)(⇒P2)											
ふる配管クリーン (全自動タイプのみ)	<p>👩 変更できます"</p>	<table border="1"> <tr> <td>する</td><td>おふろを沸かして入浴が終わったあとなど、おふろのお湯(水)を排水すると、循環アダプターからお湯が約7秒出て、ふるの配管内の残り湯をきれいに排出します。(⇒P32)</td> </tr> <tr> <td>しない</td><td>ふる配管クリーンをしません。</td> </tr> </table>	する	おふろを沸かして入浴が終わったあとなど、おふろのお湯(水)を排水すると、循環アダプターからお湯が約7秒出て、ふるの配管内の残り湯をきれいに排出します。(⇒P32)	しない	ふる配管クリーンをしません。						
する	おふろを沸かして入浴が終わったあとなど、おふろのお湯(水)を排水すると、循環アダプターからお湯が約7秒出て、ふるの配管内の残り湯をきれいに排出します。(⇒P32)											
しない	ふる配管クリーンをしません。											

冬期の凍結による破損予防

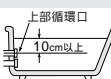
冬期には本体や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の方法で凍結を予防する必要があります。

通常の寒さのとき [外気温が-15℃までで無風のとき]

給湯側もふる側も、自動的に凍結予防します。

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

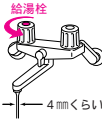
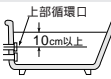
給湯側	<p>気温が下がってくると、凍結予防ヒータが自動的に作動して本体内を保温し、凍結を予防します。</p> <p>凍結予防ヒータでは、給水・給湯配管や、給水元栓及びふる配管などの凍結は予防できません。</p> <p>必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)</p>
ふる側	<p>< 浴そうの下部循環口より上に水がないとき ></p> <p>凍結予防ヒータで凍結予防します。(上記「給湯側」参照)</p> <p>< 浴そうの下部循環口より上に水があるとき ></p> <p>ポンプで自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。水が上部循環口センターより10cm以上ある状態にしてください。(凍結予防ヒータもはたらきます)</p>  <p>水がないとポンプが空運転し、本体から大きな音が発生する場合があります。</p>

冷え込みが厳しいとき [外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日]

給湯側は以下の要領で、通水による凍結予防をしてください。

ふる側は自動的に凍結予防します。

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

給湯側	<ol style="list-style-type: none"> 運転スイッチを「切」にする。 ガス栓を閉める。 お風呂の給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。 サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようお願いしますが、凍結予防の処置の場合は問題ありません。(P9)  <p>この方法は、本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。</p> <p>サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。</p> <p>やけど予防のため。</p> <p>この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。</p>
ふる側	<p>ポンプで自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。水が上部循環口センターより10cm以上ある状態にしてください。運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。(凍結予防ヒータもはたらきます)</p>  <p>水がないとポンプが空運転し、本体から大きな音が発生する場合があります。</p>

凍結して水が出ないとき

- ガス栓・給水元栓を開める。
- 運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
- ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
- 水が出るようになっても、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。本体の故障の原因となります。

凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

長期間使用しないとき

以下の要領で、水抜きによる凍結予防をしてください。

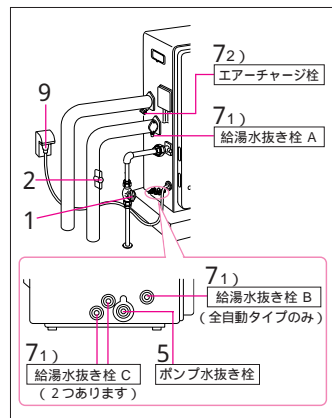


注意



お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。

集合住宅の場合は、床やパイプシャフト内部に水がこぼれないよう容器などで排水を受けてください。



ガス元栓・給水元栓を開める

- ガス栓を開める。
- 給水元栓を開める。

ふる側の水抜き

- 浴そう内の水を完全に排水する。
- 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2 追いだしスイッチを「入」にし、浴そうの循環口より排水することを確認し、2分程度そのままにする。注1 注3
3 完全に排水したら、運転スイッチを「切」にする。
- ポンプ水抜き栓を左に回して開け排水する。注2

給湯側の水抜き

- すべての給湯栓を全開にする。
- すべての給湯水抜き栓(A・B・C)を左に回して開ける。(Bは全自動タイプのみ)
2 エアーチャージ栓を左に回して開ける。(水抜き栓からお湯又は水が約850cc出ます。)
- 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2 ふる自動スイッチを押し、1分程度そのままにする。注3
3 運転スイッチを「切」にする。

最後に

- 電源プラグを抜く。
ぬれた手でさわらないで
- すべて排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・エアーカーチャージ栓・すべての給湯栓を開める。

注1) ふる側の水抜きをおこなったあとは、浴そうに水を流し込まないでください。
注2) ポンプ水抜き栓を開けたあとは絶対に追いだし運転などのふる運転をしないで下さい。ポンプ故障の原因になります。
注3) リモコンに故障表示(562)(632)を表示する場合がありますが、異常ではありません。

再使用のとき

- すべての水抜き栓・エアーカーチャージ栓・すべての給湯栓が開まっていることを確認する。
- 給水元栓を開ける。
- すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、本体や配管から水漏れがないかよく確認する。
- ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
- ポンプの呼び水をする。(P15)

日常の点検・手入れのしかた

点検（月1回程度）



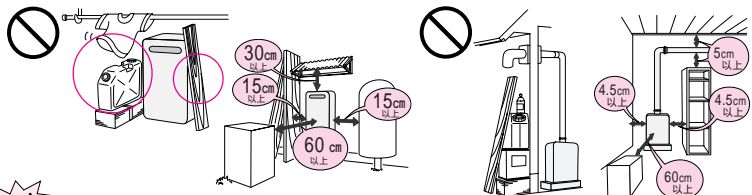
注意



高温注意

点検・手入れは、運転「切」にしておこなってください。
お湯の使用後は、本体内部のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

チェック! 本体や排気口、排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレ・缶など、燃えやすいものを置いていませんか。

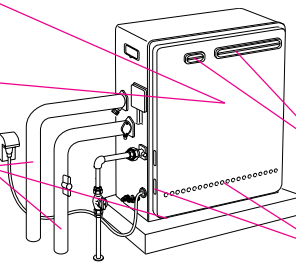


チェック! 運転中に本体から異常音が聞こえませんか。

チェック! 本体の外観に、変色したあとなど異常はありませんか。

チェック! 本体・配管から水漏れはありませんか。

チェック! (屋内設置据置形の場合) 給気フィルターがほこりなどでふさがっていませんか。



(例：131-2100型)

お手入れ（月1回程度）

本体

本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあとに充分水気をふきとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

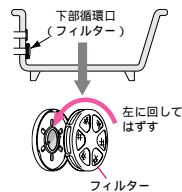
リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

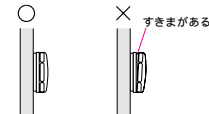
お手入れ（こまめに掃除）

フィルター

1. 浴室内の下部循環口のフィルターを左に回してははずさず。
2. フィルターを水洗いし、掃除する。
3. フィルターを下部循環口に元どおり取り付ける。



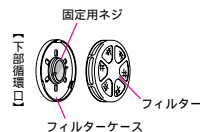
フィルターは循環口との間にすきまができないように取り付けてください。



フィルターをはずしたまま、または、正常に取り付けられていない状態で使用すると、本体が故障することがありますので、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。

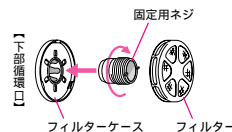
フィルターとフィルターケースが一緒に回ってしまうときは・・・

- 1) フィルターケース側に手を添えて、一緒に回らないようにしながらフィルターを左に回してははずさず。
- 2) フィルターケースを下部循環口に奥まで差し込んだ状態で、フィルターケース中央にある固定用ネジを、フィルターケースが容易に動かなくなるまで右に回し込む。
- 3) フィルターを元どおり取り付ける。

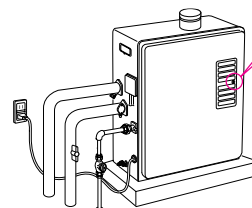


フィルターがフィルターケースごと下部循環口からはずれてしまったときは・・・

- 1) フィルターをフィルターケースからははずさず。
- 2) フィルターケース中央にある固定用ネジを左に回して、フィルターケースから取りはずさず。
- 3) フィルターケースを下部循環口に奥まで差し込む。
- 4) はずした固定用ネジを、フィルターケースが容易に動かなくなるまで右に回し込む。
- 5) フィルターを元どおり取り付ける。



給気フィルター (131-6030型のみ)



1. 取付用ツマミを左に回して機器本体からははずさず。
2. 給気フィルターの右端を少し手前に持ち上げながら右に引き出ししてははずす。
3. 給気フィルターを水洗いする。
やわらかいブラシなどを使って、金網に強い力をかけないようにする。
4. 水洗い後はよく乾燥させてから、1-2の逆の手順で取り付ける。

給気フィルターはベンジン・シンナー・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけたりしないでください。
故障の原因になりますので、給気フィルターを取りはずしたまま機器を使用したり、ぬれた給気フィルターを取り付けて使用しないでください。

故障かな？と思ったら-1

次のことをお調べください

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 停電していませんか？ ▶ 電源プラグが差し込まれていますか？
給湯栓を開いてもお湯が出ない 使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ▶ 断水していませんか？ ▶ 給湯栓は充分開いていますか？ ▶ 凍結していませんか？ ▶ ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ ▶ LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ▶ 給湯温度設定は適切ですか？(P17,18) ▶ 上記2点で問題のない場合は、P43「低温のお湯が出ない」を参照してください。
追いだき運転ができない 追いだき運転中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 浴そうの上部循環口センターより10cm以上お湯または、水が入っていますか？ ▶ ポンプの呼び水をしましたか？(P15) ▶ 下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(P40)
お風呂のお湯がぬるい お風呂のお湯があつい	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 風呂温度設定は適切ですか？(P27) ▶ 下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(P40) ▶ 下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(P40) ▶ 風呂湯量設定は適切ですか？(P28) ▶ 残り湯によっては、多くお湯はりすることがあります。(P26)
設定した湯量(水位)より多くお湯はりし、浴そうからあふれたり、あふれそうになったりする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ それでも改善しない場合は、以下の要領で、お風呂の自動沸かしの試運転をしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 浴そうが空の状態排水栓を閉じる。 2) 運転スイッチ「切」にし、設定スイッチ「設定」と風呂自動スイッチを同時に2秒間押す。 (このとき「風呂保温時間変更画面」が出る場合がありますが、異常ではありません。お風呂沸かし画面になり、お風呂沸かしをします。このお風呂沸かしは通常より時間がかかります) 3) 設定した風呂湯量(水位)にほぼなっていることを確認する。 <p>この操作をしても改善されないときは、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。</p>

次のような場合は故障ではありません

給湯栓を絞りすぎて水になった	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5ℓ以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本体から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
お湯が白く濁って見える	<ul style="list-style-type: none"> ▶ これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
寒い日に排気口から湯気が出る	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
エアーチャージ栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本体内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、エアーチャージ栓から水滴が落ちることがあります。
運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする 運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開けたときに、モータが動く音(クックッ、クー)がする。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。 ▶ 再使用時にお湯の温度を早く安定させるためです。
ポンプの回転音(ウーン)がする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 風呂追いだき運転終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 ▶ お風呂の予約運転時、予約時刻の1～2時間前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。 ▶ 気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴そうの水を循環させます。
給湯栓から流れるお湯の量に変化する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、お風呂の自動沸かしをしたり、またソーラー対応ミキシングユニット(スカイブレンダー)＜046-0155型＞を使用して太陽熱温水器と接続している場合は、お湯の量が減る場合があります。 ▶ 水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ▶ お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。

故障かな？と思ったら-2

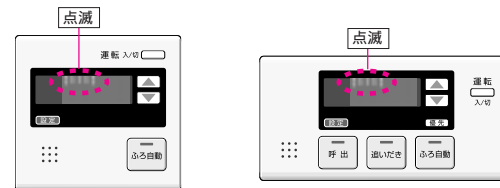
次のような場合は故障ではありません

低温のお湯が出ない	<p>夏期など、水温が高いときや、ソーラー対応ミキシングユニット(スカイブレンダー)<046-0155型>を使用して太陽熱热水器と接続している場合、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。</p>
高温のお湯が出ない	<p>お湯はりまたは足し湯運転中に台所などでお湯を使用すると、ふる設定温度のお湯が出ます。お湯はりまたは足し湯運転が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) リモコンの表示はそのままです。 <例：給湯温度の設定60℃ お湯の温度40℃></p>
おふろの自動沸かしを始めたにごったお湯が出る	<p><自動タイプの場合、または全自動タイプでふる配管クリーンの設定(☞P35,36)をしていない場合> おふろの自動沸かしを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。 特に入浴剤(にごり系)をご使用の場合には目立つ場合があります。</p>
ふる側の運転中に循環アダプターから「ポコ、ポコ」と空気の出る音がすることがある	<p>おふろの配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。</p>
台所リモコンの時刻表示が「0:00」になっている	<p>停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が「0:00」になることがありますので、再設定してください。(☞P16)</p>
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	<p>表示節電によって、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(☞P36)</p>
リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている	<p>表示節電を「しない」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分たつと、画面の焼付防止のため、画面の状態が変わります。(☞P36)</p>
スイッチを押したらスイッチの機能がはたらかず給湯温度表示画面になる	<p>どちらの場合も、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。 スイッチを押した場合は、1回押すと元の画面に戻り、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらきます。</p>
(全自動タイプの場合)ふる配管クリーンがはたらかない	<p>おふろの自動沸かし(☞P23)をせずに浴そうにお湯(水)はりして、追いだし(☞P29)によって沸かし上げたあとでは、ふる配管クリーンははたらきません。 洗濯注湯ユニットなどの別売品の使用中、または使用後は、ふる配管クリーンがはたらかない場合があります。</p>

故障表示をお調べください(1)

不具合が生じたとき、その原因を故障表示が点滅してお知らせします。下表に応じた処置をしてください。

例：■■■■を表示したとき、下図のような点滅をくりかえします。



故障表示	原因	処置
002	初めておふろの自動沸かしをするとき、浴そうに試運転時の水などが残っていたため	再度ふる自動スイッチを押すと故障表示が消えるので、次回おふろの自動沸かしをするとき、浴そう内に残り湯がない状態でおこなってください。(それ以降は残り湯があっても自動沸かしできます)
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
032	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓をし、再操作をして表示が出なければ正常です。
111	給湯側の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
112	ふる側の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして追いだしスイッチを押して表示が出なければ正常です。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
562	断水などで水が通っていないため(ふる運転時)	給水元栓が開いているか、断水していないか(カランから水が出るか)を確認しふる運転を切って通水してから再使用してください。
632	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓をし、再操作をして表示が出なければ正常です。
	追いだし運転のとき、浴そうのお湯(水)が足りないため	運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、浴そうのお湯(水)を上部循環口センターより10cm以上入れてから追いだし運転してください。(☞P29)
	下部循環口のフィルター詰まり、または下部循環口のフィルターが正常に取り付けられていないため	下部循環口のフィルターが詰まっていないか、下部循環口のフィルターが正常に取り付けられているか確認して、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。

(次ページへ)

故障かな？と思ったら-3


故障表示をお調べください(2)

故障表示	原因	処置
901	本体の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。
101	給排気に異常が生じたため、安全のために給湯能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。
991	本体の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。

131-6030型のみ

130	燃焼上不具合(一酸化炭素濃度)	<p>【ブザーが鳴らないとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓を開けて十分な換気をしてください。 給湯栓を閉めてください。 給気フィルターが汚れているときは給気フィルターをはずして掃除してください。(P40) 運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 <p>【ブザーが鳴るとき】</p> <p>(ブザーは運転スイッチを「切」にすれば止まります)</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓を開けて十分な換気をしてください。 製品などに異常があります。販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
380	COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)異常・寿命報知	<p>センサー異常の場合と耐用時間を越えた場合に表示します。修理を依頼してください。(耐用時間を越えた場合の修理は有料となります。)</p> <p>そのまま使用すると、使用時に約30秒間ブザーが鳴ります。</p>

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

上記以外の表示(例：)など)が出るとき
上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
その他、わからないとき

アフタ - サ - ビスについて

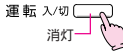
サービスを依頼されるとき

41～45ページの「故障かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容


品名…………… 下記の要領で、リモコンで製品名をお調べください

1 運転スイッチを「切」にする



運転 入/切
消灯

2 選択スイッチ(上)を 2秒 押す



<リモコン表示画面の表示例>

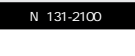
キシュコード

N-131-2100

製品名

製品名をお知らせください。

運転スイッチを「入」にするか、しばらくすると、表示が消えます。

リモコンが点灯しない場合は、本体の正面左下に (例)  貼り付けてある銘板をご覧ください。
(右記のように製品名を記載しています)

お買い上げ日……保証書をご覧ください
異常の状況……故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。
但し、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本体を移設されるときは、本体(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業所、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

24号		全自動タイプ	自動タイプ
製 品 名	131-2100型		131-2010型
型 式 名	GRQ-2416AX		GRQ-2416SAX
種 類	給湯方式	先止め式	
	設置方式	屋外設置形	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使用水圧 kPa	78.5 - 98.1 (0.8 - 10.0kgf/cm ²)	
	作動水圧 kPa	9.81 (0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量	ℓ/分 3.5		
外形寸法	mm 高さ640×幅534×奥行239		
質 量 (本 体)	kg 36		
接 続 口 径	循環管	45 (ゴム接続)	
	給湯	R3/4	
	給水	R3/4	
	ガス	R3/4	
	都市ガス	R3/4	
	L P ガス	R1/2	
電 源	AC100V (50/60Hz)		
電 気 開 閉 係 数	消費電力 (50/60Hz) W	155 / 185 (凍結予防ヒータ 197)	155 / 185 (凍結予防ヒータ 187)
	待機消費電力	運転スイッチ「入」約3.4W (省電力モード)、「切」約2.8W < 台所・浴室リモコン取付 >	
湯 温 制 御 方 式	運転スイッチ「入」時 約3.4W (省電力モード)、「切」約2.8W < 台所・浴室リモコン取付 >		
係 数	電子式ガス比例制御方式		
安 全 装 置	立消入安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、ポンプ過負荷保護装置、誘導雷保護装置		

16号		全自動タイプ	自動タイプ
製 品 名	131-6100型		131-6010型
型 式 名	GRQ-1616AX		GRQ-1616SAX
種 類	給湯方式	先止め式	
	設置方式	屋外設置形	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使用水圧 kPa	78.5 - 98.1 (0.8 - 10.0kgf/cm ²)	
	作動水圧 kPa	9.81 (0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量	ℓ/分 3.5		
外形寸法	mm 高さ640×幅534×奥行239		
質 量 (本 体)	kg 34		
接 続 口 径	循環管	45 (ゴム接続)	
	給湯	R1/2 (15A)	
	給水	R1/2 (15A)	
	ガス	R1/2	
	都市ガス	R1/2	
	L P ガス	R1/2	
電 源	AC100V (50/60Hz)		
電 気 開 閉 係 数	消費電力 (50/60Hz) W	145 / 175 (凍結予防ヒータ 197)	145 / 175 (凍結予防ヒータ 187)
	待機消費電力	運転スイッチ「入」約3.4W (省電力モード)、「切」約2.8W < 台所・浴室リモコン取付 >	
湯 温 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式		
安 全 装 置	立消入安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、ポンプ過負荷保護装置、誘導雷保護装置		

仕様表

16号		自動タイプ		
製 品 名	131-6030型			
型 式 名	GRQ-1616SAX-F			
種 類	給湯方式	先止め式		
	設置方式	屋内設置据置形		
点 火 方 式	放電点火式			
水 圧	使用水圧 kPa	78.5 - 98.1 (0.8 - 10.0kgf/cm ²)		
	作動水圧 kPa	9.81 (0.1kgf/cm ²)		
最低作動流量	ℓ/分 3.5			
外形寸法	mm 高さ715×幅534×奥行239			
質 量 (本 体)	kg 36			
接 続 口 径	循環管	45 (ゴム接続)		
	給湯	R1/2		
	給水	R1/2		
	ガス	R1/2		
電 源	AC100V (50/60Hz)			
電 気 開 閉 係 数	消費電力 (50/60Hz) W	175 / 200 (凍結予防ヒータ 187)		
	待機消費電力	運転スイッチ「入」時 15W以下 (通常モード) 4.5W以下 (通常モード) 運転スイッチ「切」時 4W以下		
湯 温 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式			
安 全 装 置	立消入安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、ポンプ過負荷保護装置、誘導雷保護装置、COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)			

能力表

製品名は仕様表を参照してください。

24号		型 式 名 GRQ-2416AX GRQ-2416SAX			
使 用 ガ ス	1時間当りのガス消費量(最大消費量)	都市ガス=kW(kcal/h)		LPガス=kW(kg/h)	
	給湯ふる併用	給湯側	ふる側	出湯能力(最大時)	ℓ/分
	都市ガス用	13A	64.0 (55,000)	52.3 (45,000)	11.6 (10,000)
L P ガス用		64.0 (4.57)	52.3 (3.74)	11.6 (0.83)	24 15

16号		型 式 名 GRQ-1616AX GRQ-1616SAX GRQ-1616SAX-F			
使 用 ガ ス	1時間当りのガス消費量(最大消費量)	都市ガス=kW(kcal/h)		LPガス=kW(kg/h)	
	給湯ふる併用	給湯側	ふる側	出湯能力(最大時)	ℓ/分
	都市ガス用	13A	46.5 (40,000)	34.9 (30,000)	11.6 (10,000)
L P ガス用		46.5 (3.32)	34.9 (2.49)	11.6 (0.83)	16 10

型式名GRQ-1616SAX-Fは、都市ガス13Aのみです。

保証書

このたびは大阪ガスのガス機器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

商品名 **ガスふろ給湯器**
型番 **131-6030型**

1. お客さま名 お買上げ日

おなまえ	さま	年
おところ		月 日

2. お買上げ店

店名	TEL
住所	

3. お客さまのご使用番号および機器コードなど

カードコード	支社店コード	販売担当	発行No.	ご使用番号				登録機器コード	抹消機器コード
				支社	区	町	丁目	家番	
D:0:3:3									

4. 保証期間

保証期間は、お買上げの日から2年間です。

年 月 日 から 年 月 日 まで

なお、本保証書内に別途指定されている機能部品及び機器本体と一対で対応する別売品の保証期間については、その記載年数とします。

5. 保証の内容

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買上げ店もしくは当社代理店が無料修理させていただきます。

なお、無料修理できない場合を裏面に記載しておりますのでご確認ください。

6. 保証の範囲

保証は機器本体と機器本体と一対で対応する別売品を対象とします。乾電池等の消耗品は、保証の対象ではありません。

7. 補修部品の保有期間と有料修理について

当社は、当商品製造中止後10年を基準に修理用性能部品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合はお買上げ店もしくは当社代理店が有料で修理いたします。

但し、当商品製造中止後10年経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
(裏面もご覧ください)

8. つぎのようになる場合は、保証期間内でも有料修理になります。

- (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
- (2) お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
- (3) 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
- (4) 水道管の錆など異物の流入による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
- (6) 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
- (7) 工事説明書および取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷。
- (8) 業務用の場所等(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所など)で長時間ご使用になられた場合。
- (9) 機器に表示してあるガスの種類以外のガスでご使用になられた場合。
- (10) 本書のご提示がない場合。
- (11) 本書に保証期間およびお買上げ店の記入のない場合、あるいはお買上げ店の訂正印なしで、字句を書きかえられた場合。
- (12) 使用場所が当社のガス供給区域外の場合。(出張料を別途頂きます。)

9. お客さまへ

- (1) 無料修理やアフターサービスなどについてご不明の場合は、お買上げ店もしくはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。
- (2) 本書に保証期間およびお買上げ店名の記載のないものについては無効となりますので購入時に必ずご確認ください。
- (3) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- (4) ご転居の場合またはご贈答品等で本書に記入してあるお買上げ店に修理がご依頼できない場合には、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- (5) この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

10. 保証者

住所 大阪市中央区平野町4-1-2
☎ 大阪 06(6202)2221
会社名 大阪ガス株式会社

別途指定2年間保証「別売品」

- 台所リモコン
- その他増設リモコン

年	月	日	サービスメモ

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

5 - 3 本体貼付ラベル類

(N) 131-6030 (U)

大阪ガス株式会社

JGA 21-049-25-02103

型式 **GRQ-1616SAX-F**

都市ガス用

	13A	12A
最大	46.5kW	43.4kW
ふろ	11.6kW	10.8kW

定格電圧 AC100V
定格周波数 50/60Hz
定格消費電力 175/200W


2000.00 - 000000
株式会社ノーリツ

[設置上の注意]
・浴室内および屋外に設置しないでください。
[給排気の点検]
・排気筒・トップが外れたり、ふさがっていないか確認してください。
・給気口・排気口は常に確保し、物などでふさがないようにください。

凍結予防ヒーター 187W

認証登録番号 OW2003



 HF12 S00003

|_BL 証紙_

|_合格証_

⚠ 警告		⚠ 注意	
 高温注意	お湯を使う時や入浴する時は、手で湯温を確かめる。やけどの恐れあり。	 接触禁止	やけど注意 使用中・使用直後は、機器本体の排気口や排気筒など的高温部には触らない。
 火災注意	機器本体や給排気部のまわりに燃えやすい物を置かない。火災の恐れあり。	取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。 取扱いを誤りますと火災・やけどなどの恐れがあります。	
 禁止	換気注意 (屋内式FEのみ) 使用中は換気に十分注意する。但しレンジフード・換気扇を回さない。一酸化炭素中毒の恐れあり。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体に表示してあるガス(ガスグループ)以外は使用しないでください。 ●遠隔操作の場合は取扱説明書に記載されているリモコンをご使用ください。 ●リモコンを接続した場合はリモコンの表示に従って操作し着火・消火をリモコンの表示により確認してください。 ●機器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。 ●ときどき取扱説明書に記載してある要領で、点検と手入れを行ってください。 ●冬期、冷え込みが厳しく凍結の恐れがあるときは、取扱説明書に記載してある方法で凍結予防をしてください。これを怠りますと、凍結して機器が破損する場合があります。 ●機器を移設される場合は、販売店または最寄りの当社営業所までご連絡ください。 ●異常時(排気口から煙が出る、こげ臭など)や緊急時(地震・火災など)は使用をやめ、販売店または最寄りの当社営業所までご連絡ください。 	
 禁止	波板囲い禁止 (屋外式機器のみ) 波板などで囲まない。一酸化炭素中毒や火災の恐れあり。 屋外式ガス機器	 波板囲い	

DNSK005

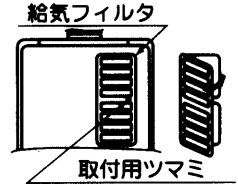


⚠ 注意

給気フィルタは1ヶ月に1回程度掃除してください。

給気フィルタのお手入れ

給気フィルタは右図のように取付用ツマミを回してはずしてください。掃除後はもとの位置へ取付けて取付用ツマミを回して、確実にセットしてください。これを怠りますと機器が故障するおそれがあります。

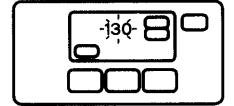


故障表示《130》《210》点滅時の処理

この機器は燃烧上不異常が生じた時に、その状態を故障表示で表示する機能があります。

下表に応じた処置を行ってください。

(浴室リモコンの場合の表示部)



表示	ブザー	処置
130 210 が点滅	鳴らない時	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開けて十分な換気をしてください。 ●給湯栓を閉めてください。 ●給気フィルタが汚れている時は給気フィルタをはずして掃除してください(上図参照)。 ●運転スイッチを「切」にし再度「入」にしてください。 ●130、210の点滅が消えると再度使用することができます。
	鳴る時 ブザーは運転スイッチを「切」にすれば止ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●窓を開けて十分な換気をしてください。 ●機器などに異常があります。お買い上げの販売店または、取扱説明書記載の事業所までご連絡ください。

故障表示《380》点滅時の処理

COセンサの使用時間には限りがあるため、長時間使用された場合、《380》点滅とブザー、能力低下によりお知らせします。

●COセンサーの交換が必要です。販売店または、取扱説明書記載の事業所までご連絡ください。

DQPK001

販売店・工事店の皆さまへのお願い

設置前には工事説明書、取扱説明書を必ずお読みください。

給水、給湯配管工事では配管内のゴミを取り除いてください

給水配管と機器とを接続する前に水道の元栓を開けて、給水配管内に混入したゴミ・砂等を排出してください。そして、接続後通水テストを必ず行い、給水配管接続部についているフィルターを取り出し、ゴミ等の清掃を行ってください。
工事説明書に従い、試運転を行ってください。

ポンプ呼び水を行ってください（自動お湯はり機能なしの器具のみ）

- 集合住宅の片廊下設置やパイプシャフト（ガス・水道メーターおよび配管）内設置などの水抜きを行なう場合は、床面およびパイプシャフト内部に水がこぼれないよう容器等で排水を受けてください。

<ポンプ呼び水方法-図1・図2参照->

- ①ふろ水抜き栓④⑤をあける。
- ②給湯水抜き栓⑥についているビニールホースの先端を、ふろ水抜き栓⑤に接続し給湯水抜き栓⑥を左にまわしてポンプに水を入れる（ふろ水抜き栓④より水が出るまで。）
- ③給湯水抜き栓⑥を閉め、続いてふろ水抜き栓④⑤を閉める。
- ④工事説明書に従い、試運転を行ってください。

試運転後は凍結予防を行ってください

試運転が終わりましたら、機器の凍結防止のため水抜きを必ず行ってください。水抜きを忘れた場合、機器が破損することがあります。お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてから行ってください。

- 集合住宅の片廊下設置やパイプシャフト（ガス・水道メーターおよび配管）内設置などの水抜きを行なう場合は、床面およびパイプシャフト内部に水がこぼれないよう容器等で排水を受けてください。

<水抜き方法-図1～図4参照->

- ①ガス元栓①をしめる。（図3、4参照）
 - ②給水元栓②をしめる。（図3、4参照）
- （ふろ側）
- ③浴槽の水を排水する。
 - ④リモコンの運転スイッチを押し運転スイッチ点灯後、追いだきスイッチを押し、循環口より水が出ることを確認、2分程そのままにする。
（2階浴室など浴槽が機器より高い位置にある場合は、ふろ水抜き栓③④を左に回して開けた後、追いだきスイッチを押し、ふろ水抜き栓④より水が出てくることを確認する。）（注1）
（GRQタイプにはふろ金具及び水抜き栓③④はありません。）
 - ⑤上記の排水の完了を確認後、運転スイッチを押し、運転スイッチの消灯を確認する。
 - ⑥ふろ水抜き栓③④、ポンプ水抜き栓⑤を左に回して開け排水する。（注2）
注1）ふろ側の水抜きを行なった後は浴槽に水を流し込まないでください。
注2）ポンプ水抜き栓を開けた後は絶対に追いだき運転などのふろ運転をしないでください。ポンプ故障の原因になります。
- （給湯側）
- ⑦すべての給湯栓を全開にする。
 - ⑧給湯水抜き栓⑥⑧⑨を左に回して開ける。
（⑧は無い機器もあります。⑨は側方配管取り出しタイプのみ。）
 - ⑨エアチャージ栓⑦を左に回して開ける。
 - ⑩自動お湯はり機能付機器では、運転スイッチを押し運転スイッチ点灯後、ふろ自動スイッチを押し1分程度そのままにした後（注3）運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
- 注3）リモコンで「故障お知らせ音」が鳴ったり、故障表示「562」「632」を表示する場合がありますが、異常ではありません。
排水されたことを確認した後、すべての水抜き栓・エアチャージ栓（③～⑨）、およびすべての給湯栓を右に回して閉めてください。

循環アダプタについて（GTタイプ）

取り替え現場などで従来の循環アダプタを継続使用する場合は、次の点を確認して該当すれば処置をしてください。これを怠りますと自動お湯張り中に故障表示「162」が出て安全動作するなど、機器の性能を十分に発揮できない場合があります。

- ①循環アダプタ内に図5に示す”浴槽逆止組立”があれば取り外し、中に②逆止弁があるか確認する。②逆止弁があれば①を緩めて取り除く。
- ②組み付けは逆の手順で行なってください。

設置終了後、取扱説明書と工事説明書を必ずお客さまにお渡しください。またこの用紙を必ず取り除いてください。

図1 側方配管取り出しタイプ

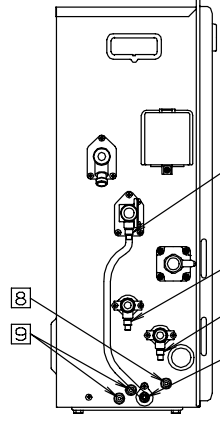


図2 下方配管取り出しタイプ

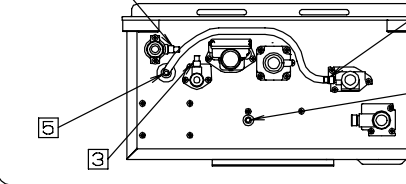


図3 側方配管取り出しタイプ

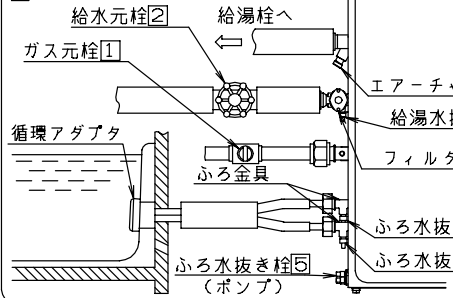


図4 下方配管取り出しタイプ

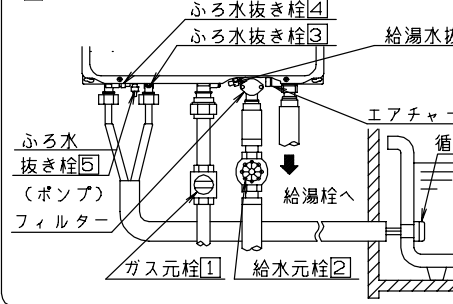
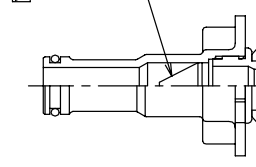
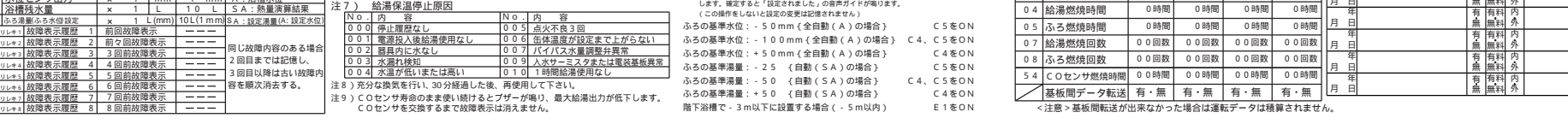
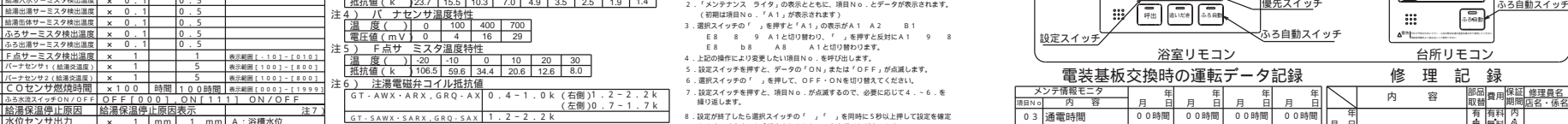
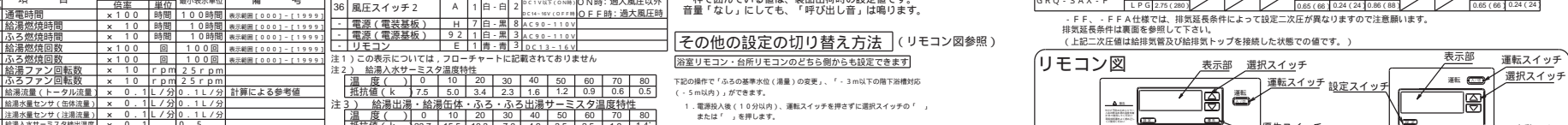
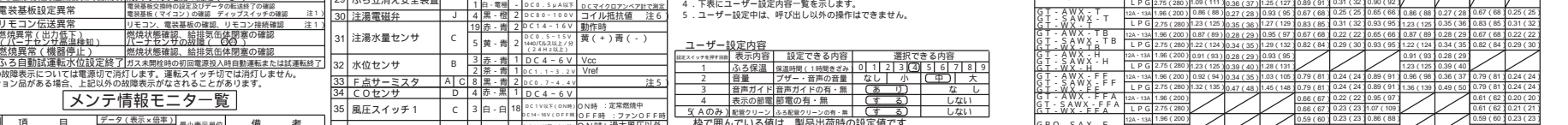
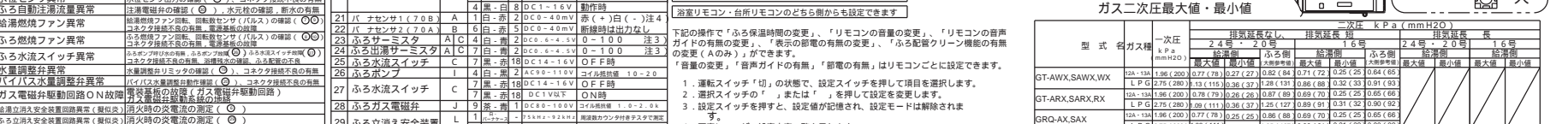
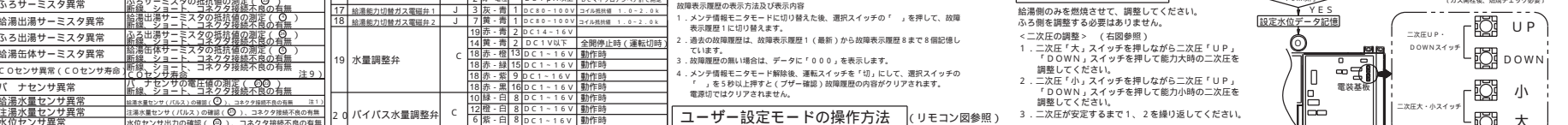
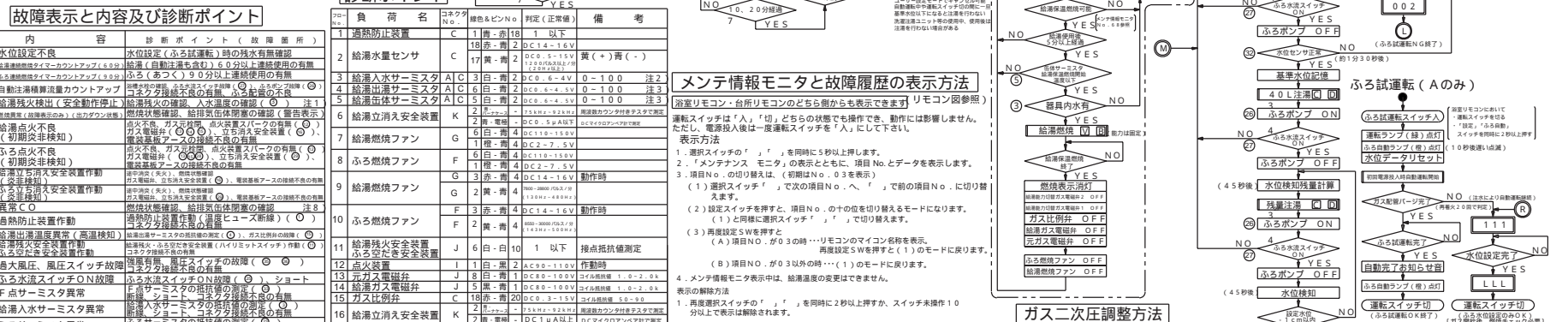
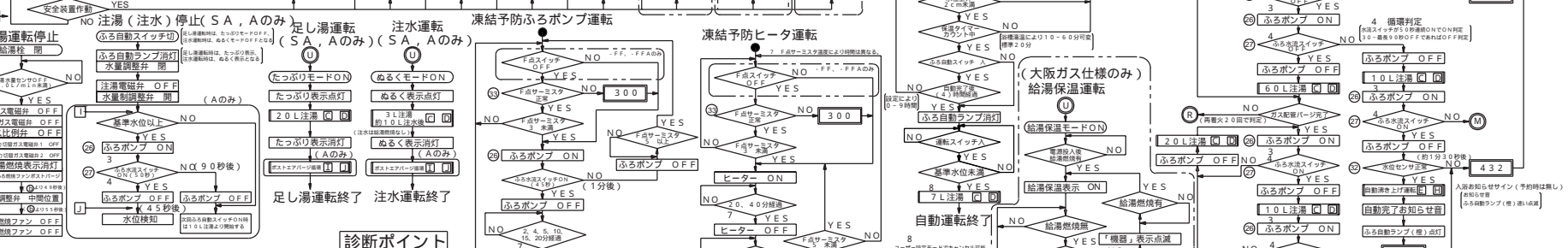
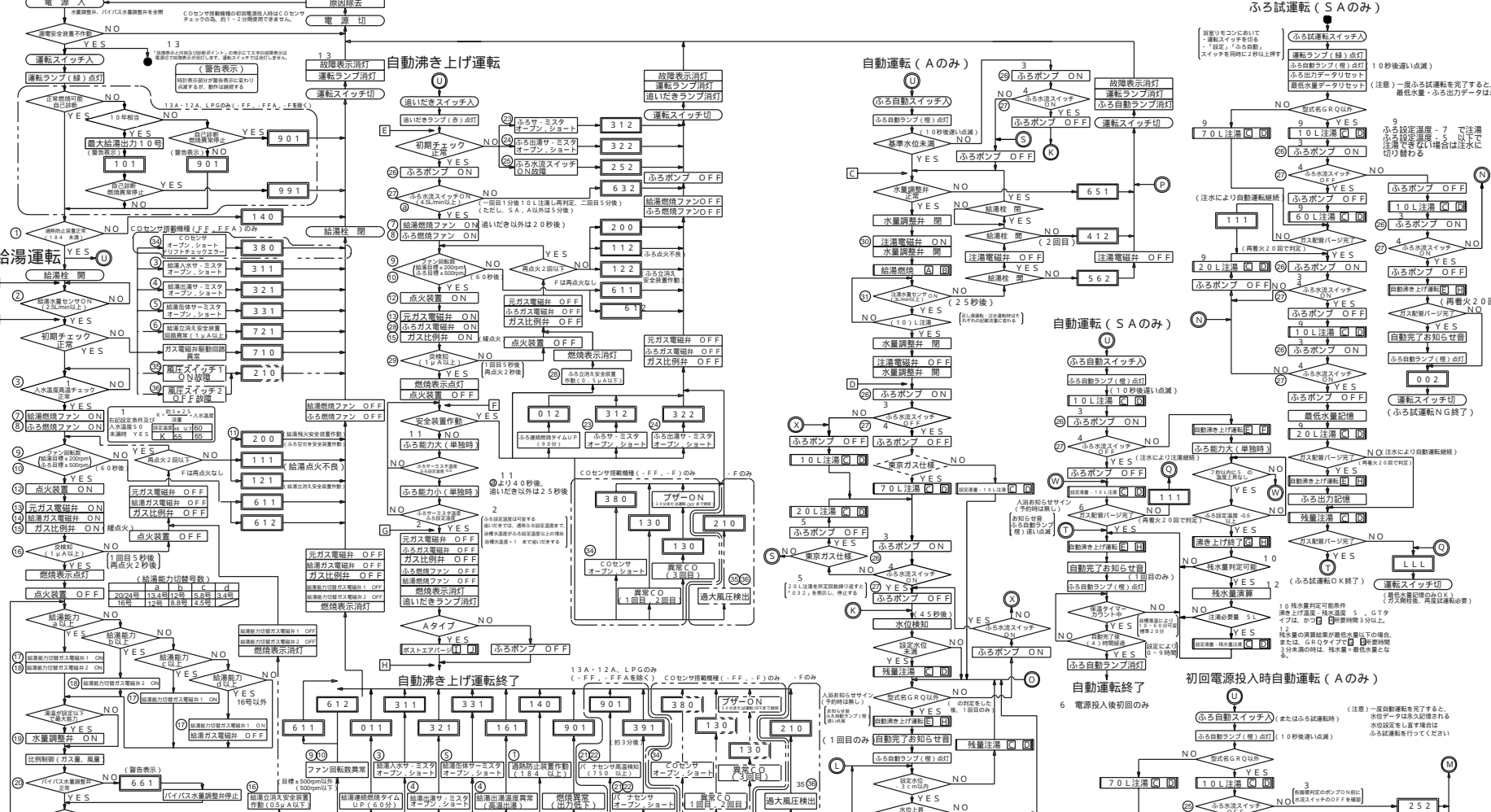


図5

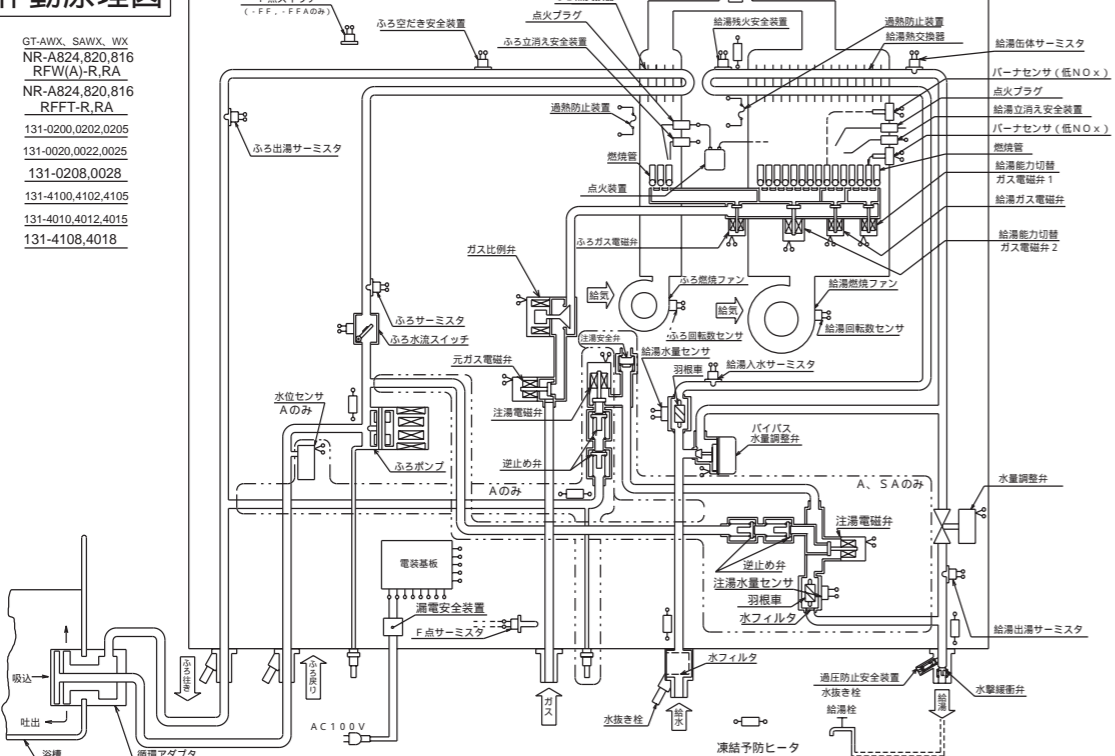


型式名	ガス会社機器名、機器コード、OEM機器名	型式名	ガス会社機器名、機器コード、OEM機器名	型式名	ガス会社機器名、機器コード、OEM機器名	型式名	ガス会社機器名、機器コード、OEM機器名
GT-2416AWX(-G)	NR-A824RFW-RA 131-0200	GT-2016AWX(-G)	NR-A820RFW-RA 131-0200	GT-1616AWX(-G)	NR-A816RFW-RA 131-4100	GT-2416AWX-H(-G)	NR-A824RFW-RA 131-0208
GT-2416SAWX(-G)	NR-A824RFA-RA 131-0300	GT-2016SAWX(-G)	NR-A820RFA-RA 131-0300	GT-1616SAWX(-G)	NR-A816RFA-RA 131-4200	GT-2416SAWX-H(-G)	NR-A824RFA-RA 131-0308
GT-2416ARX(-G)	NR-A824RFA-RA 131-2100	GT-2016ARX(-G)	NR-A820RFA-RA 131-2100	GT-1616ARX(-G)	NR-A816RFA-RA 131-6100	GT-2416ARX-H(-G)	NR-A824RFA-RA 131-2108
GT-2416SARX(-G)	NR-A824RFA-RA 131-2010	GT-2016SARX(-G)	NR-A820RFA-RA 131-2010	GT-1616SARX(-G)	NR-A816RFA-RA 131-6010	GT-2416SARX-H(-G)	NR-A824RFA-RA 131-2018
GT-2416AWX-T(-G)	NR-A824RFF-RA 131-0202	GT-2016AWX-T(-G)	NR-A820RFF-RA 131-0202	GT-1616AWX-T(-G)	NR-A816RFF-RA 131-4102	GT-2416AWX-T(-G)	NR-A824RFF-RA 131-0208
GT-2416SAWX-T(-G)	NR-A824RFF-RA 131-0302	GT-2016SAWX-T(-G)	NR-A820RFF-RA 131-0302	GT-1616SAWX-T(-G)	NR-A816RFF-RA 131-4202	GT-2416SAWX-T(-G)	NR-A824RFF-RA 131-0308
GT-2416ARX-T(-G)	NR-A824RFF-RA 131-2102	GT-2016ARX-T(-G)	NR-A820RFF-RA 131-2102	GT-1616ARX-T(-G)	NR-A816RFF-RA 131-6102	GT-2416ARX-T(-G)	NR-A824RFF-RA 131-2108
GT-2416SARX-T(-G)	NR-A824RFF-RA 131-2012	GT-2016SARX-T(-G)	NR-A820RFF-RA 131-2012	GT-1616SARX-T(-G)	NR-A816RFF-RA 131-6012	GT-2416SARX-T(-G)	NR-A824RFF-RA 131-2018
GT-2416AWX-TB(-G)	NR-A824RFB-RA 131-0205	GT-2016AWX-TB(-G)	NR-A820RFB-RA 131-0205	GT-1616AWX-TB(-G)	NR-A816RFB-RA 131-4105	GT-2416AWX-TB(-G)	NR-A824RFB-RA 131-0208
GT-2416SAWX-TB(-G)	NR-A824RFB-RA 131-0305	GT-2016SAWX-TB(-G)	NR-A820RFB-RA 131-0305	GT-1616SAWX-TB(-G)	NR-A816RFB-RA 131-4205	GT-2416SAWX-TB(-G)	NR-A824RFB-RA 131-0308

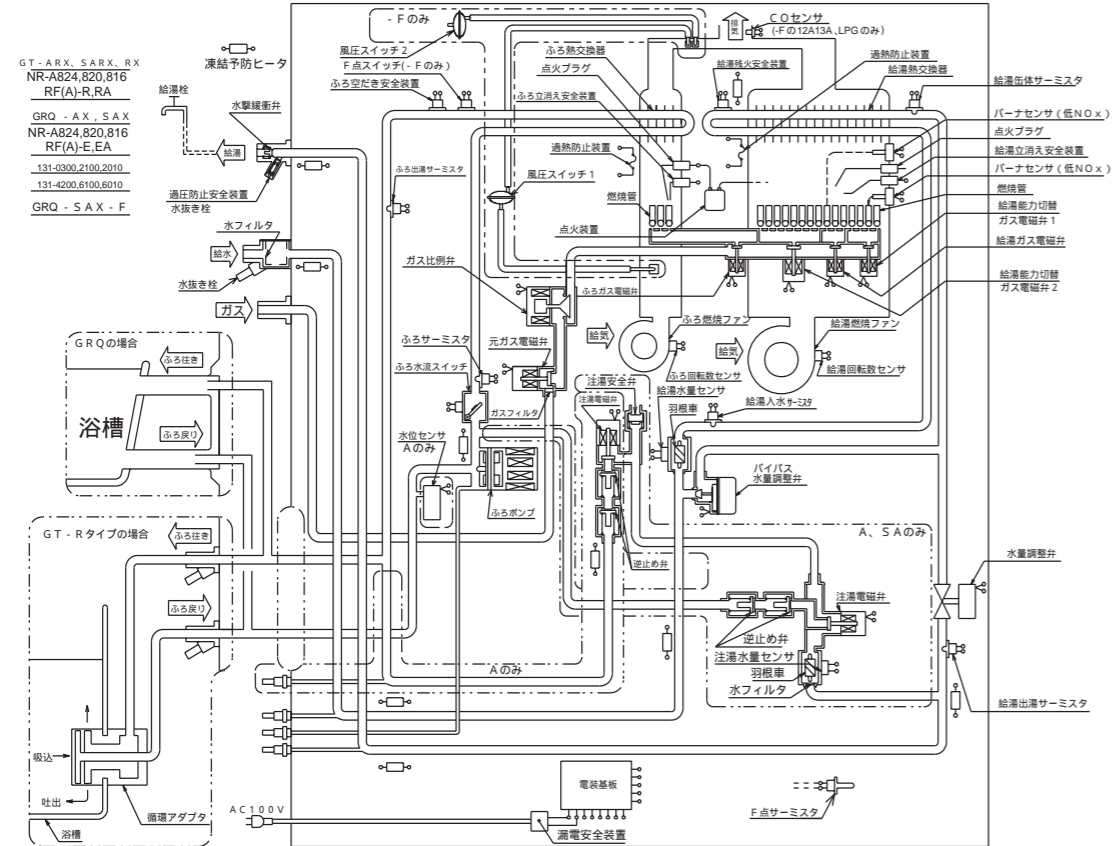


項目	データ(表示)単位	最小値	最大値	備考
給湯時間	× 1.0 時間	10.0時間	無制限(0.00)~11.99	
給湯回数	× 1.0 回数	1.0回数	無制限(0.00)~11.99	
給湯水量	× 1.0 L	1.0L	無制限(0.00)~11.99	
給湯温度	× 0.1 ℃	40.0℃	無制限(0.00)~11.99	
給湯圧力	× 0.1 MPa	2.5 MPa	無制限(0.00)~11.99	
給湯速度	× 0.1 m/min	2.5 m/min	無制限(0.00)~11.99	
給湯圧力	× 0.1 MPa	2.5 MPa	無制限(0.00)~11.99	
給湯速度	× 0.1 m/min	2.5 m/min	無制限(0.00)~11.99	
給湯圧力	× 0.1 MPa	2.5 MPa	無制限(0.00)~11.99	
給湯速度	× 0.1 m/min	2.5 m/min	無制限(0.00)~11.99	

GT-AWX, SAWX, WX
NR-A824,820,816
RFW(A)-R,RA
NR-A824,820,816
RFFT-R,RA
131-0200.0202.0205
131-0020.0022.0025
131-0208.0028
131-4100.4102.4105
131-4010.4012.4015
131-4108.4018

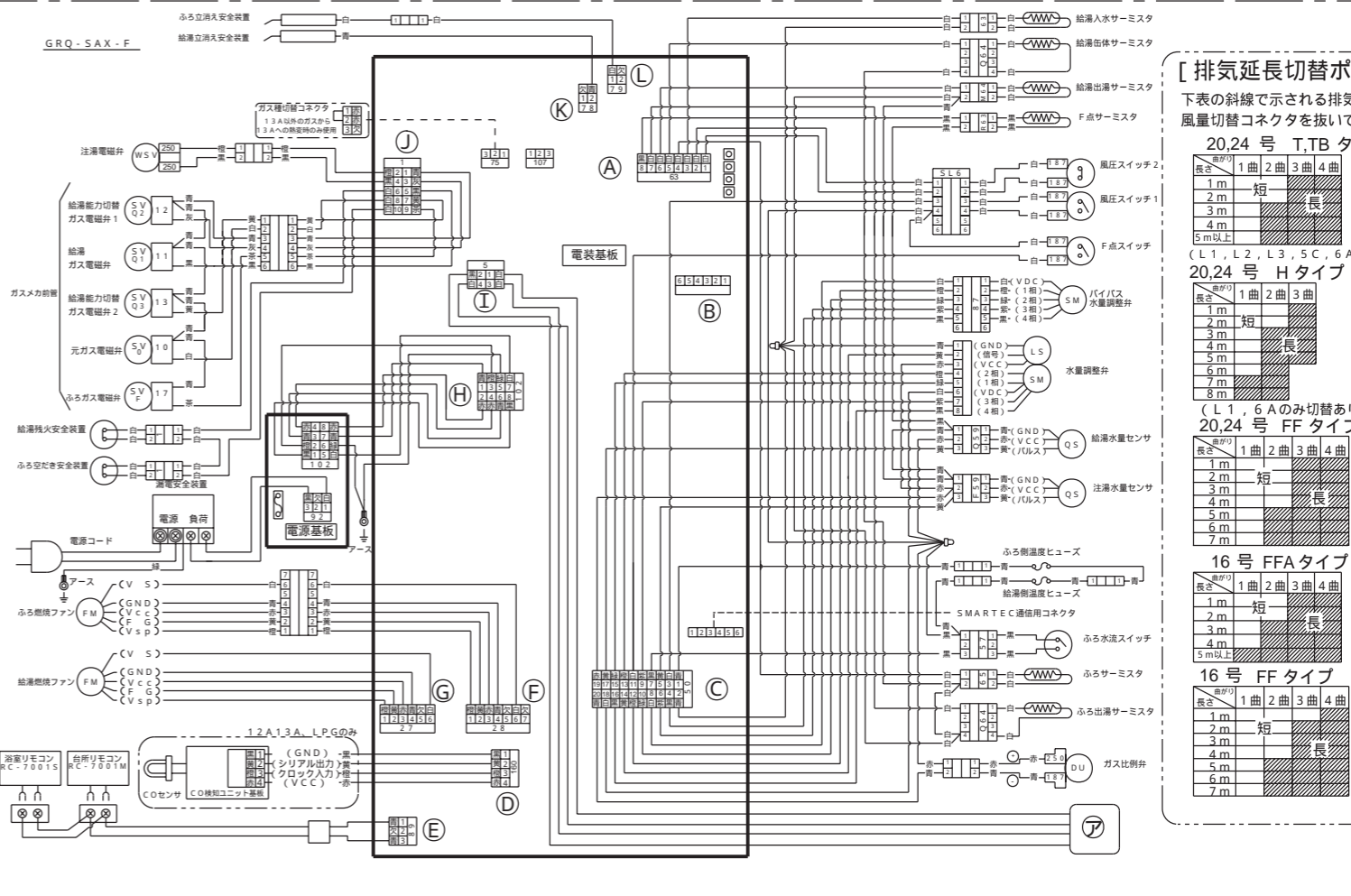
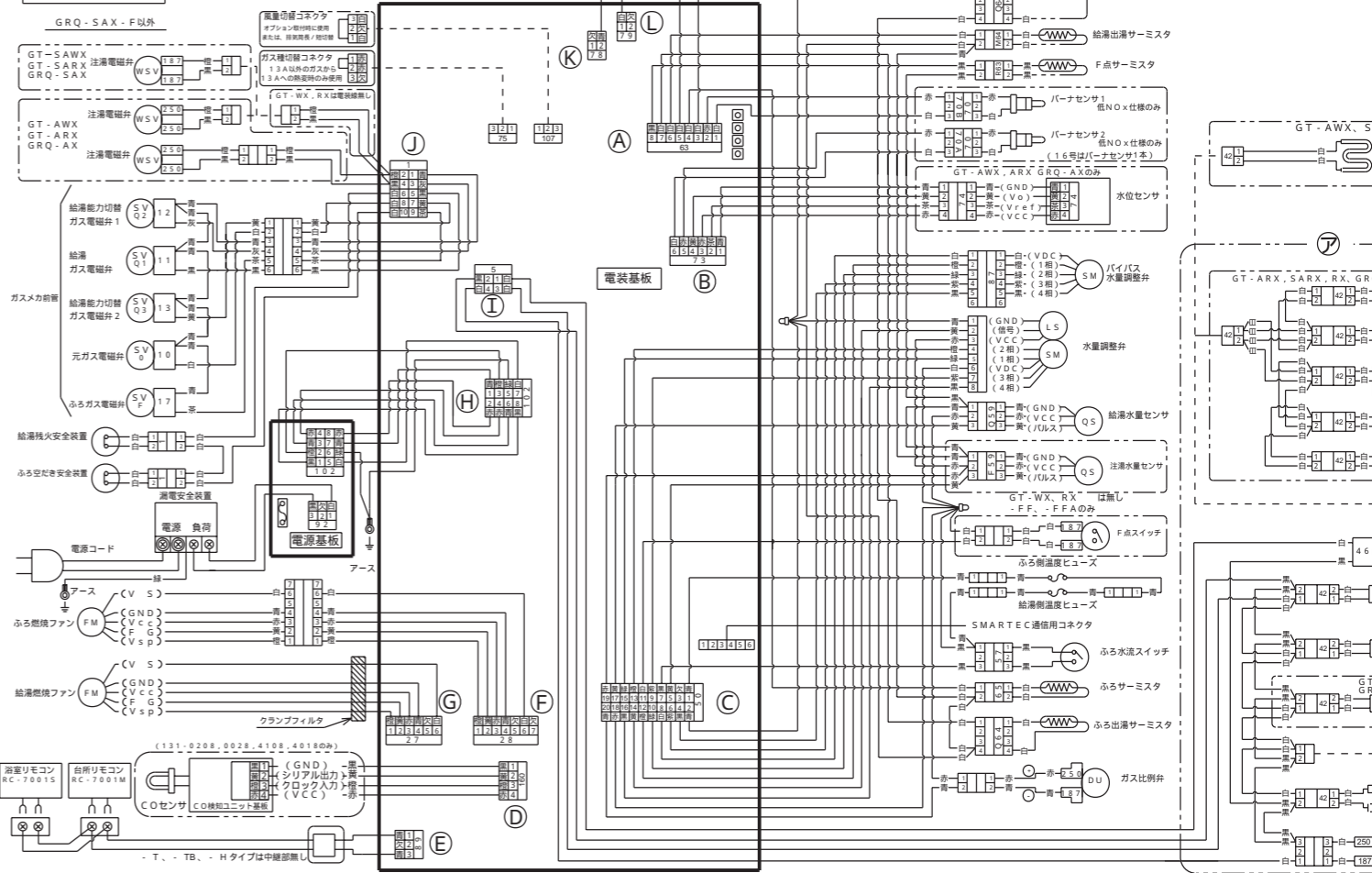
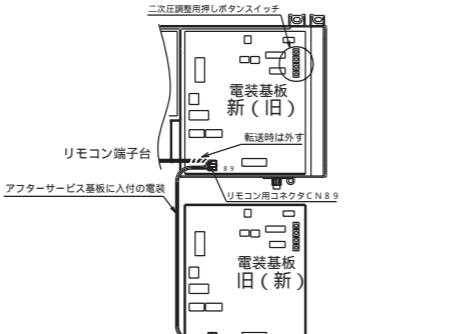


GT-ARX, SARX, RX
NR-A824,820,816
RF(A)-R,RA
GRQ-AX, SAX
NR-A824,820,816
RF(A)-E,EA
131-0300.2100.2010
131-4200.6100.6010
GRQ-SAX-F



電装基板の交換手順 (右図参照)

- 電源を切った状態で、新基板に入れ付けである電装を使用し、新・旧基板上のリモコン用コネクタ (CN89) を接続します。
(リモコン端子台と接続されているコネクタは外します)
 - 電源を入りにすると、約20秒で転送が終了します。転送終了を示す信号として、燃焼ファンが一定速で回転し、給湯ガス電磁弁がON/OFFを繰り返します。(3分間)
 - 転送終了が確認できたら、電源を切り、先に外したリモコン端子台と接続されているコネクタを元に戻してください。
(転送時に使用した電装は不要ですので外してください)
- 交換終了後に、ガス二次圧調整方法に従い二次圧を確認、調整してください。
まれに旧基板の通信回路の故障により、設定及びデータの転送が出来ない場合があります。その場合は、アフターサービス基板に同梱されている手順書に記載されている手順に従い、再設定を行ってください。



[排気延長切替ボイ]

下表の斜線で示される排気風量切替コネクタを抜いて

20,24号 T,TBタイプ

長さ	1曲	2曲	3曲	4曲
1m				
2m				
3m				
4m				
5m以上				

20,24号 Hタイプ

長さ	1曲	2曲	3曲
1m			
2m			
3m			
4m			
5m			
7m			
8m			

(L1, L2, L3, SC, 6Aのみ切替あり)

長さ	1曲	2曲	3曲	4曲
1m				
2m				
3m				
4m				
5m				
7m				

20,24号 FFタイプ

長さ	1曲	2曲	3曲	4曲
1m				
2m				
3m				
4m				
5m				
7m				

16号 FFAタイプ

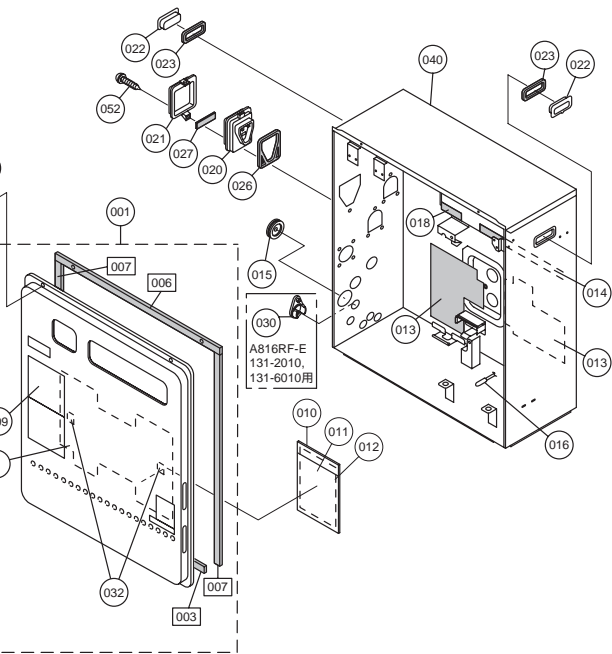
長さ	1曲	2曲	3曲	4曲
1m				
2m				
3m				
4m				
5m				
7m				

16号 FFタイプ

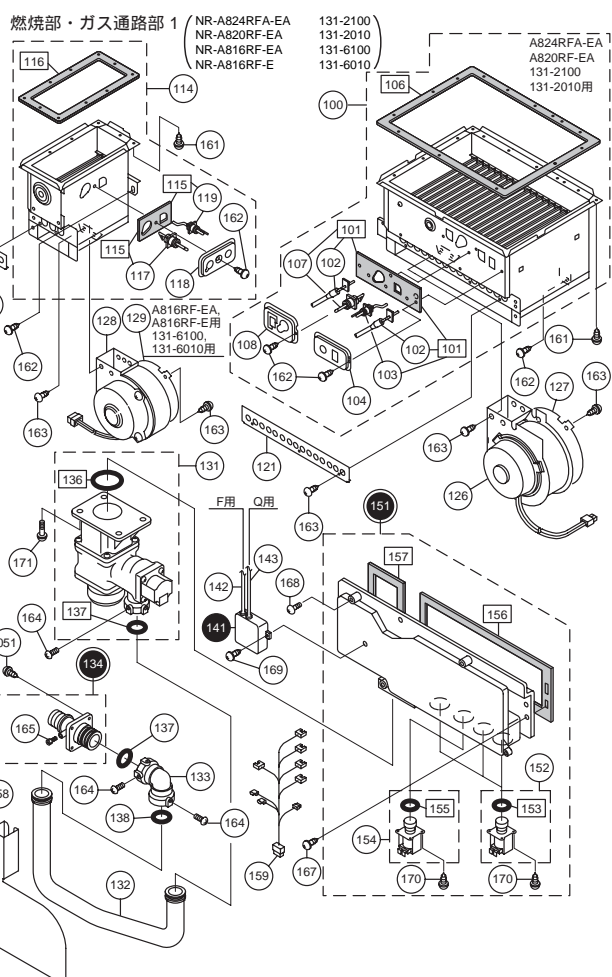
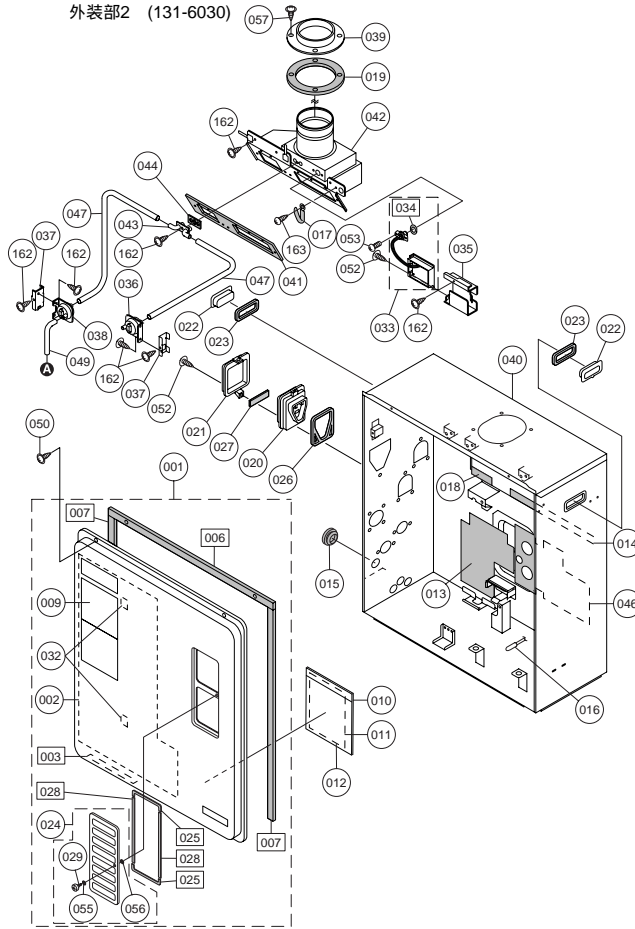
長さ	1曲	2曲	3曲	4曲
1m				
2m				
3m				
4m				
5m				
7m				

型式名	ガス会社機器名、OEM機器名		型式名	ガス会社機器名、OEM機器名
GRQ-2416AX GRQ-2416SAX GRQ-2016AX GRQ-1616AX GRQ-1616SAX GRQ-1616SAX-F	NR-A824RFA-EA NR-A820RF-EA NR-A816RF-EA NR-A816RF-E	131-2100 131-2010 131-6100 131-6010 131-6030		

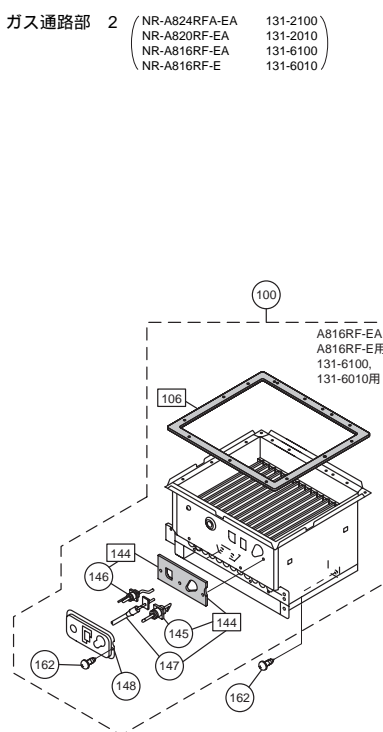
外装部1 (NR-A824RFA-EA 131-2100
NR-A820RF-EA 131-2010
NR-A816RF-EA 131-6100
NR-A816RF-E 131-6010)



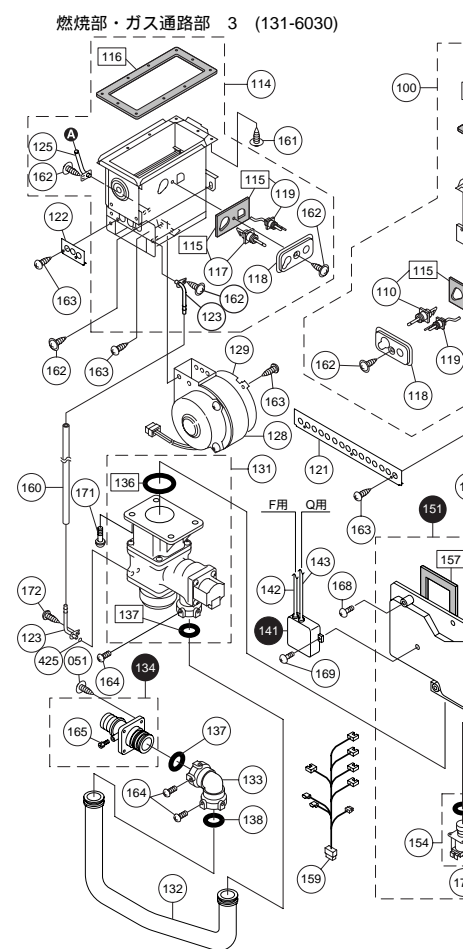
外装部2 (131-6030)



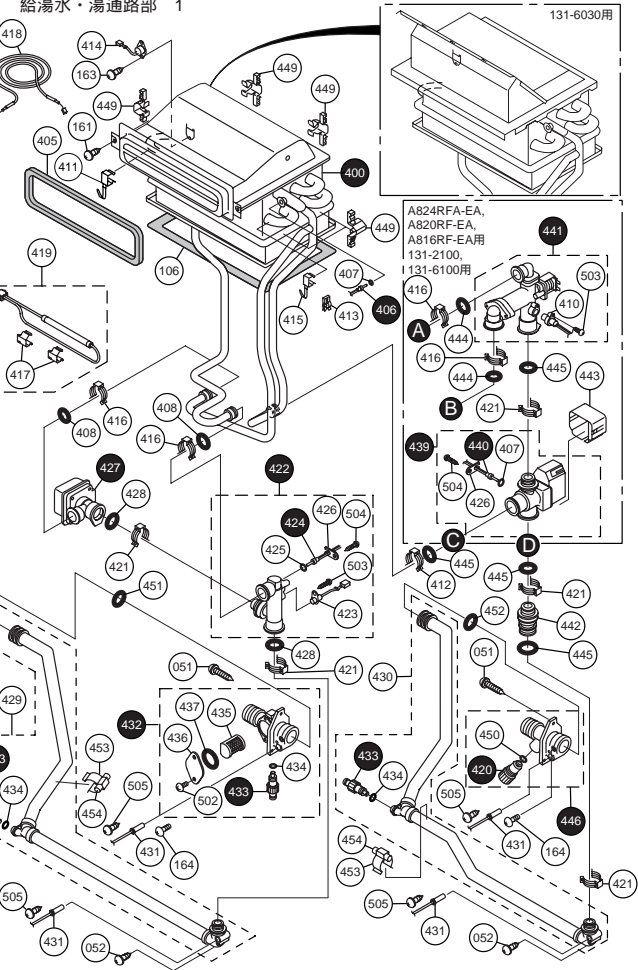
燃焼部・ガス通路部 2 (NR-A824RFA-EA 131-2100
NR-A820RF-EA 131-2010
NR-A816RF-EA 131-6100
NR-A816RF-E 131-6010)



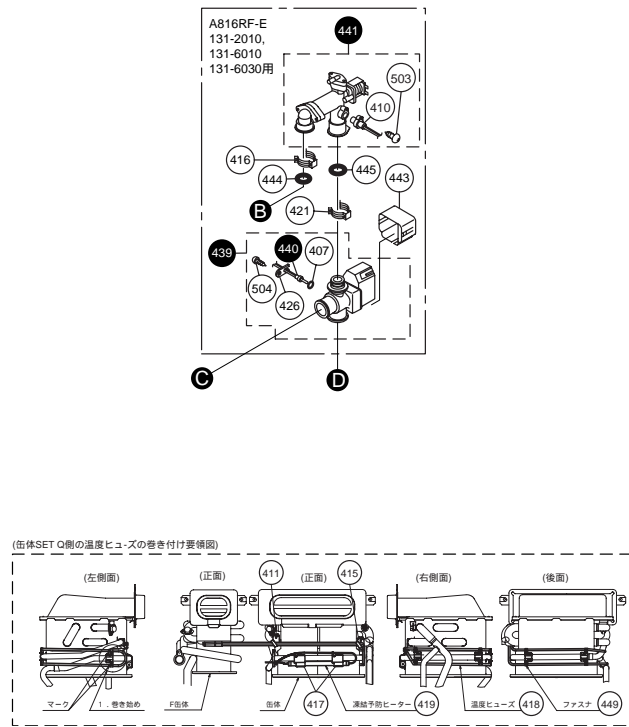
燃焼部・ガス通路部 3 (131-6030)



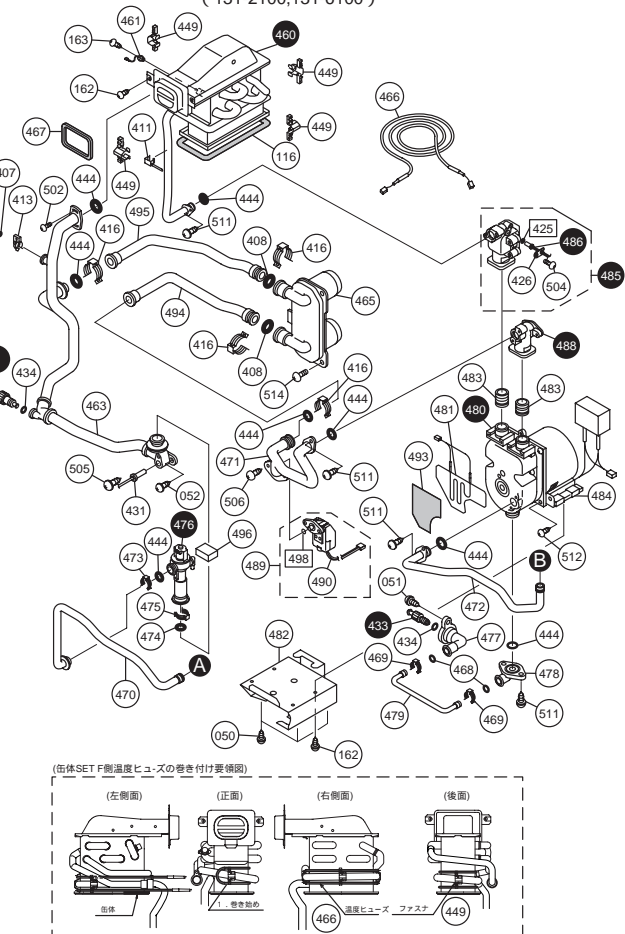
給湯水・湯通路部 1



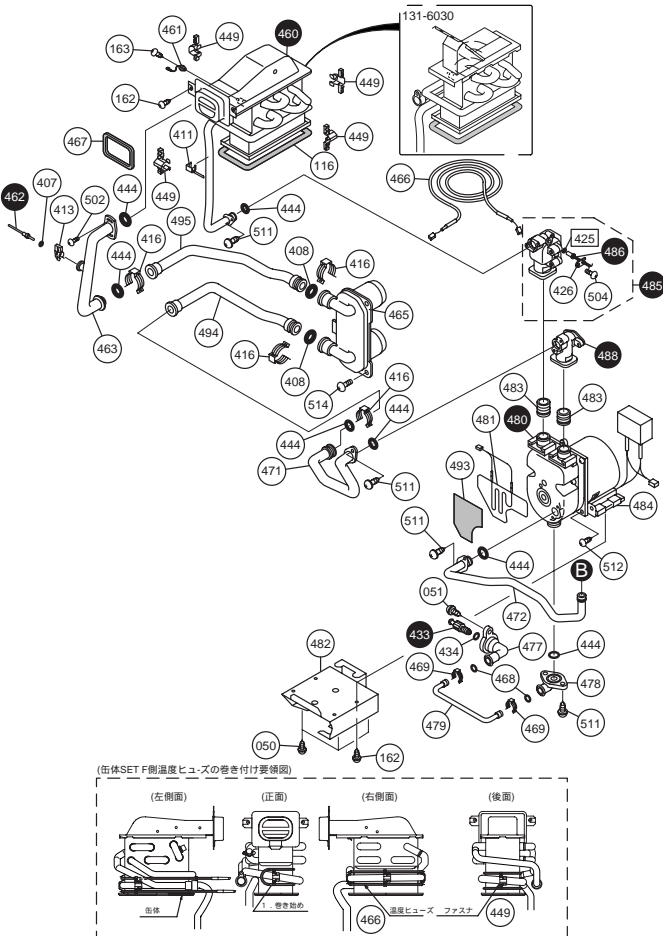
給湯水・湯通路部 2



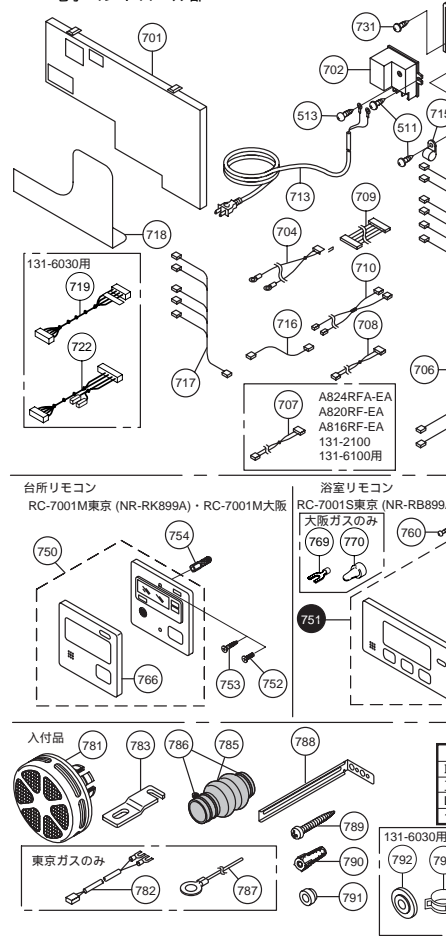
ふろ水・湯通路部 1 (NR-A824RFA-EA, A820RF-EA, A816RF-EA) (131-2100, 131-6100)



ふろ水・湯通路部 2 (NR-A816RF-E, 131-2010, 131-6010, 131-6030)



電子コントロール部



新製品の知

ガスふる給湯
(N \times P)131-6

2000年9月
大阪ガス株式会社
営業技術部